

# 但馬地域鉄道利便性向上対策アクションプログラム

平成 30 年 3 月

但馬地域鉄道利便性向上対策協議会



# — 目次 —

	頁
<b>1. はじめに</b> .....	<b>1</b>
1.1 計画策定の目的 .....	1
1.2 計画の位置づけ .....	1
1.3 計画地域及び計画区間 .....	1
1.4 上位計画・関連計画 .....	2
<b>2. 地域の現状</b> .....	<b>4</b>
2.1 位置・地勢 .....	4
2.2 地域の人口・高齢化率 .....	5
2.3 鉄道の現状 .....	6
2.4 観光客の動向 .....	10
2.5 人の動き【第5回近畿圏パーソントリップ調査】 .....	12
2.6 人の動き【第5回全国幹線旅客純流動調査】 .....	16
<b>3. アンケート調査結果</b> .....	<b>17</b>
3.1 アンケート調査概要 .....	17
3.2 観光客アンケート .....	18
3.3 住民アンケート .....	21
3.4 鉄道利用者アンケート .....	22
<b>4. これまでの取組とその効果</b> .....	<b>24</b>
4.1 輸送サービス向上 .....	24
4.2 駅活性化 .....	25
4.3 利用促進 .....	27
<b>5. 現状と課題の整理</b> .....	<b>29</b>
<b>6. 計画の理念と数値目標</b> .....	<b>31</b>
6.1 計画の理念 .....	31
6.2 計画の数値目標 .....	31
<b>7. 利便性向上のための取組施策</b> .....	<b>32</b>
7.1 輸送サービスの向上 .....	32
7.2 交流人口の拡大 .....	33
7.3 駅及び駅周辺環境の改善 .....	35
7.4 利用者意識の醸成 .....	36
<b>8. 取組の評価及び推進体制</b> .....	<b>38</b>
<b>■ 用語集</b> .....	<b>39</b>



## 1. はじめに

### 1.1 計画策定の目的

J R 山陰本線・播但線の利用者数は 1990 年（平成 2 年）頃から減少し、それに伴って、普通列車及び特急列車の減便、急行の廃止など、サービス水準も次第に低下してきた。

これを受け、利便性向上の基本的考えをとりまとめた「但馬地域鉄道利便性向上対策アクションプログラム（平成 18 年 3 月）」を策定し、県・地元市町・事業者は、特急列車の高速化、駅前広場整備、バスとの乗り継ぎ利便性向上などの取組を推進してきた。

これらの取組もあり、利用者数の減少速度は緩やかになったものの、地域内における人口減少、少子高齢化の一層の進行等により依然として減少傾向にある。特に、非電化区間である城崎温泉駅～居組駅間及び寺前駅～和田山駅間では厳しい状況に置かれており、新たな取組の迅速な展開が求められている。

このような J R 山陰本線・播但線の現状、地域の人口動向や、国内外からの観光客増加等の社会情勢の変化を踏まえ、地域の基幹交通である鉄道の利便性向上、利用者数増加の取組を一層強化し、地域の持続的な発展に寄与することを目的として、新たなアクションプログラムを策定する。

### 1.2 計画の位置づけ

本プログラムは、鉄道の利便性向上、利用者数の増加に向けた地域及び地元自治体の考え方、取組施策をまとめたものである。よって、鉄道の運行形態に関する施策については、今後、地域共生企業を標榜する J R 西日本をはじめとする事業者との対話を重ね、一緒になって模索していくものとして掲げており、これらについては合意に至ったものから順次実施するものとする。

### 1.3 計画地域及び計画区間

計画地域： 豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町及び神河町

計画区間：（山陰本線） 梁瀬駅～居組駅間

（播但線） 寺前駅～和田山駅間

## 1.4 上位計画・関連計画

兵庫県では、持続可能な公共交通の実現に向け、住民の方々に公共交通を利用して頂くことによって公共交通を維持し、未来に繋げていくため、「ひょうご公共交通10ヵ年計画（平成25年3月）」を策定している。この計画では、関係者（交通事業者、行政、住民）の意識改革、異なる交通事業者間の連携強化、観光・まちづくり等の他分野との連携などによって、「持続可能な公共交通への再生」、「利便性の高い公共交通ネットワークへの再編」、「公共交通を地域で支える仕組みへの再構築」を図るものとしている。また、平成29年12月に策定された「活力あるふるさと兵庫実現プログラム」では、山陰本線・播但線の在来線高速化、特急延伸について、2019年度（平成31年度）の事業着手に向けた取組を推進するものとしている。

各市町においては、地域創生に向けた総合戦略を立案しており、人口減少を抑制し、少子高齢化が進行する中でも地域の活力を維持するための方策を整理している。総合戦略における鉄道関連の施策は以下のとおりであり、各市町とも地域資源の活用、観光情報の発信、交通アクセス手段の充実などに取り組むものとしている。

### ■ ひょうご公共交通10ヵ年計画（平成25年3月）

目標	“みんなでつかい 明日へつなぐ公共交通”
基本戦略	基本戦略1：持続可能な公共交通への再生 基本戦略2：利便性の高い公共交通ネットワークへの再編 基本戦略3：公共交通を地域で支える仕組みへの再構築
今後10年で行う事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型車両等の導入・促進</li> <li>・ 鉄道運行の改善（増便、軌道改良、地上設備改良）</li> <li>・ ダイヤ改善</li> <li>・ 運転保安設備の設置・更新、防災防火対策（ATS-Pの設置）</li> <li>・ 軌道の強化（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業の実施）</li> <li>・ 問題踏切の解消（踏切の改良）</li> <li>・ 移動の安全・安心の向上（駅舎の段差解消、転落防止対策）</li> <li>・ 時刻表等のわかりやすい情報提供（地域の公共交通を網羅した時刻表の作成）</li> <li>・ 広域移動情報の充実（ネット経路探索の機能充実等）</li> </ul>
検討を深める事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存駅舎の改築（歩行者自由通路の設置）</li> </ul>

### ■ 活力あるふるさと兵庫実現プログラム（平成29年12月）

目標	在来線の高速化と特急の延伸を平成30年代に実現
施策・工程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山陰本線・播但線在来線高速化、特急延伸</li> <li>・ 2019年度に事業着手</li> </ul>

■ 豊岡市地方創生総合戦略 第3版 (平成29年6月)

関連施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術創造交流事業</li> <li>・外国人観光客プロモーション</li> <li>・観光地マーケティング</li> <li>・夢但馬周遊バス運営事業</li> <li>・京都丹後鉄道特急車両改修</li> <li>・城崎温泉街交通環境改善</li> </ul>
------	---

■ まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 (平成27年10月)

関連施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の情報発信体制の充実</li> <li>・戦略的なシティープロモーションの充実</li> <li>・生活と観光をミックスさせた情報・交通アクセス手段の構築</li> </ul>
------	---

■ 朝来市創生総合戦略 (平成28年1月)

関連施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者遠距離通勤者支援事業</li> <li>・観光交流キャンペーン事業</li> <li>・竹田城跡活用まちづくりプログラム事業</li> </ul>
------	---

■ 香美町総合戦略 (平成27年10月)

関連施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山・川・海の魅力を発信し、特色あるイベントの充実</li> <li>・グリーンツーリズム、マリンツーリズムによる交流推進</li> <li>・スポーツによる交流人口の増大</li> <li>・文化遺産や地域資源を活用した誘客</li> <li>・友好都市との交流促進</li> </ul>
------	--

■ 新温泉町地方創生総合戦略 (平成30年2月改定)

関連施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光情報の発信強化</li> <li>・観光客の受入体制の充実</li> <li>・観光メニューやルートの充実</li> </ul>
------	--

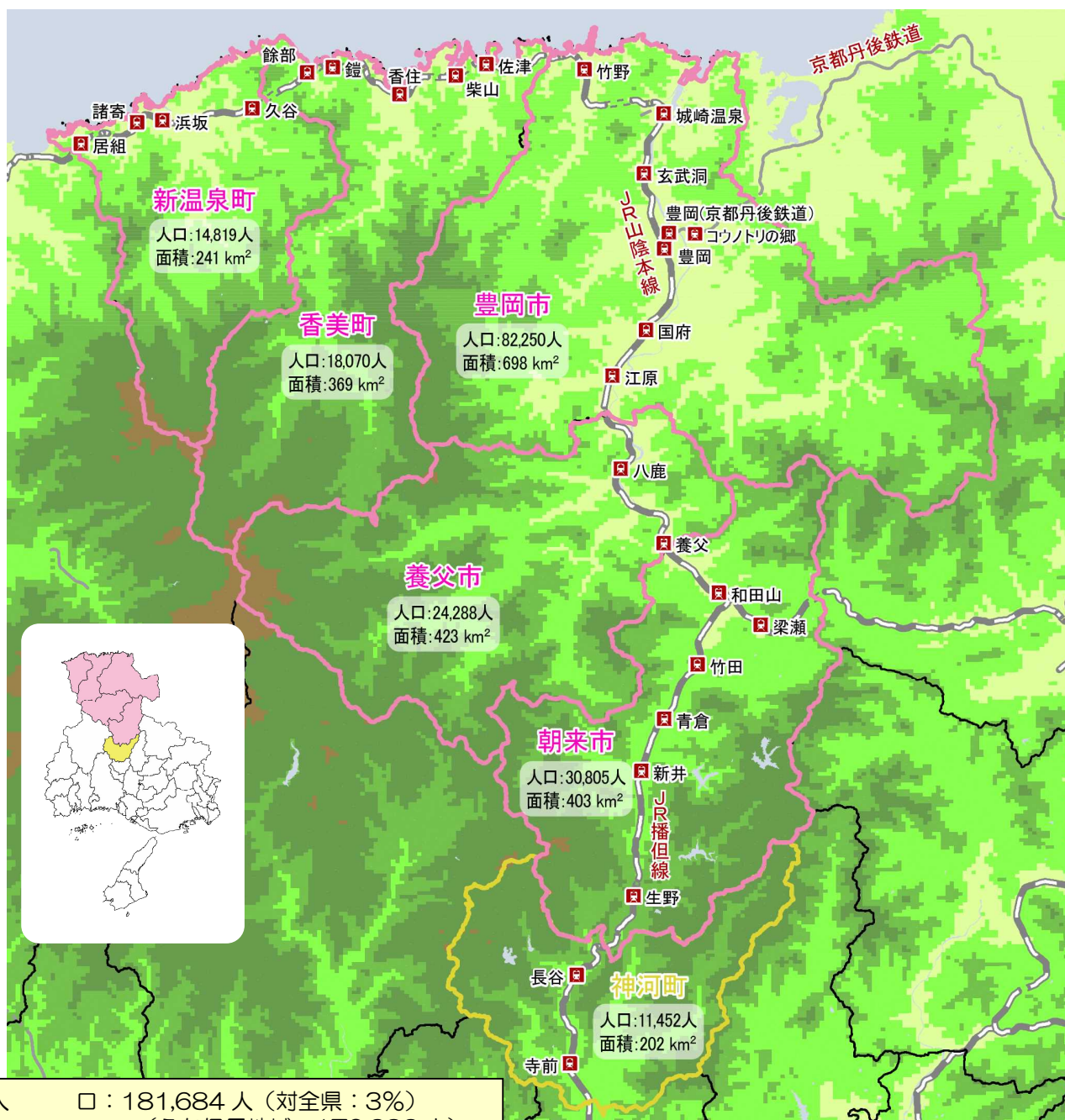
■ 神河町地域創生総合戦略 (平成27年10月)

関連施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光PR推進事業</li> <li>・通勤補助の創設</li> </ul>
------	---

## 2. 地域の現状

### 2.1 位置・地勢

計画地域は、兵庫県の但馬地域及び中播磨地域の3市3町（豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、神河町）から構成され、東は京都府、西は鳥取県、北は日本海に面しており、全県の約28%の面積に、全県の約3%の人口が居住している。



人	口：181,684人（対全県：3%） （うち但馬地域 170,232人）
面	積：2,335.5km <sup>2</sup> （対全県：28%） （うち但馬地域 2,133.3km <sup>2</sup> ）
G D P	：6,288億円（対全県：3%） （うち但馬地域 5,998億円）

出典）人口：国勢調査 2015 年  
面積：全国都道府県市町村別面積調 2016 年  
GDP：兵庫県民経済計算 2014 年

図 2.1.1 計画地域



## 2.2 地域の人口・高齢化率

2015年（平成27年）の計画地域の人口は、約18万人である。人口は減少傾向であり、2005年（平成17年）と比較して、2万人（約11.3%）以上減少している。今後も人口減少が進み、2040年（平成52年）には、13万人程度まで減少すると予測されている。

また、高齢化率は上昇傾向であり、2015年（平成27年）では33.7%となっているが、2040年（平成52年）には、42.3%に上昇すると予測されている。

市町別にみると、全ての市町で人口減少、高齢化の進行が見られ、特に新温泉町、香美町で顕著である。

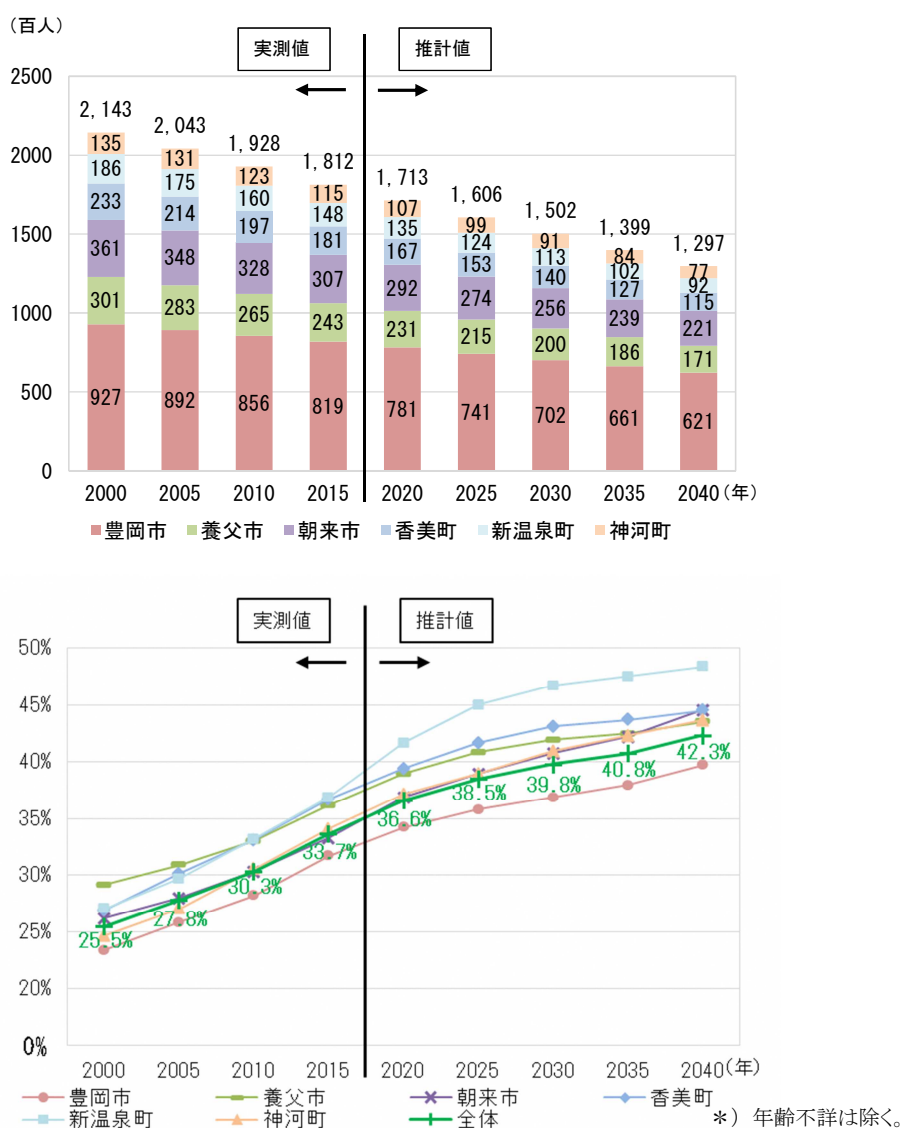


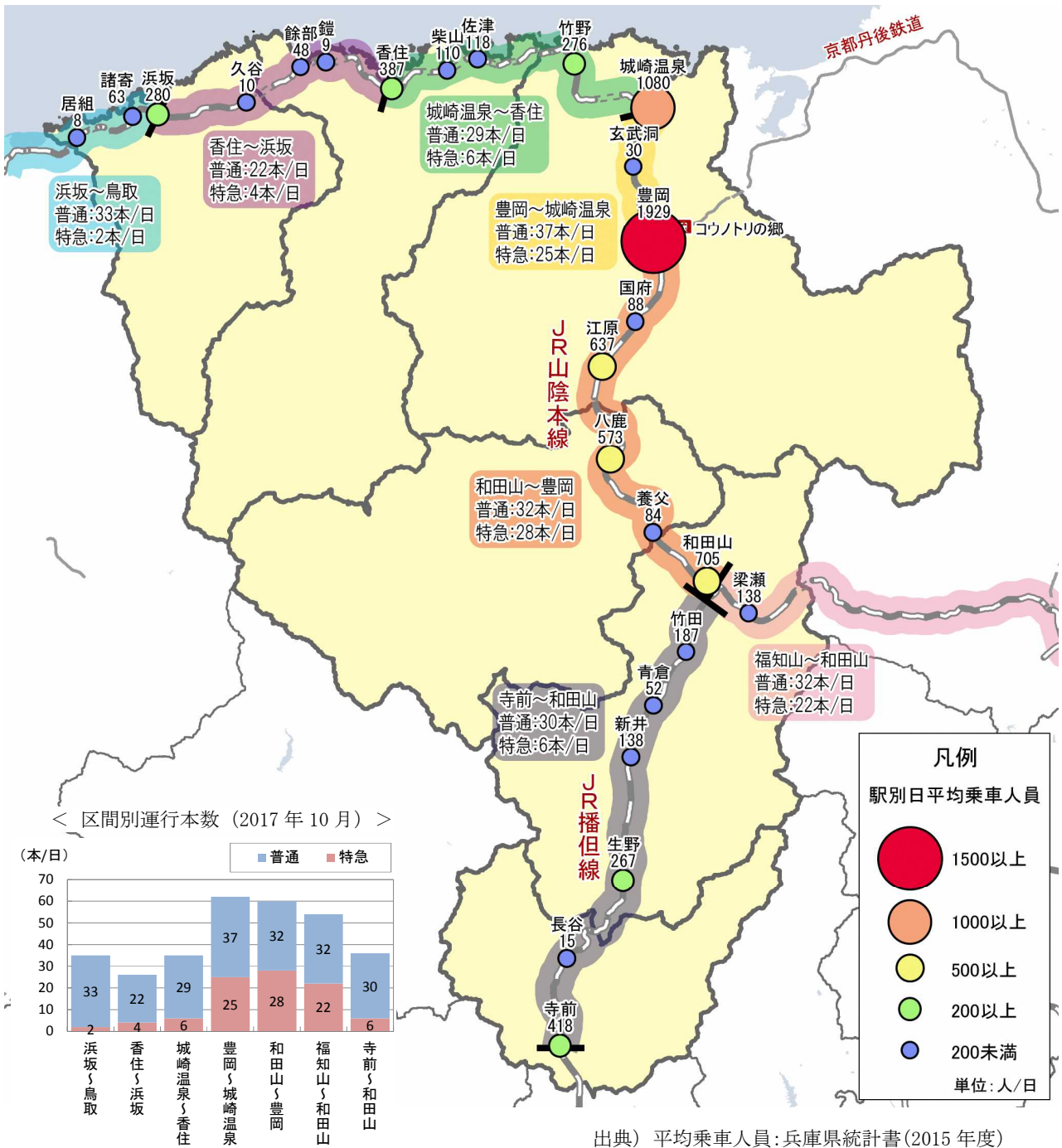
図 2.2.1 人口・高齢化率の推移（地域全体）

## 2.3 鉄道の現状

### (1) 地域の鉄道網

計画地域内には、姫路市と朝来市を結ぶJR播但線、京都市から豊岡市を經由し鳥取市へと通じるJR山陰本線、福知山市・舞鶴市と豊岡市を結ぶ京都丹後鉄道の3路線が運行しており、27駅（JR播但線駅6駅、JR山陰本線19駅、京都丹後鉄道2駅）ある。

JRの区間別運行本数をみると、播但線（寺前～和田山間）、山陰本線（城崎温泉～鳥取間）は、山陰本線（福知山～城崎温泉間）と比較して運行本数が少ない。

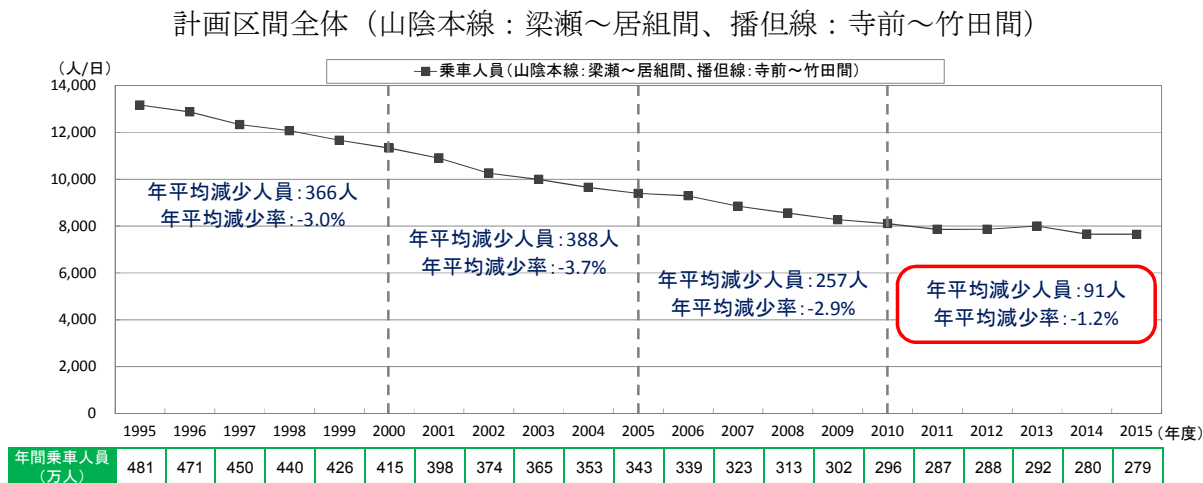


出典) 平均乗車人員: 兵庫県統計書(2015年度)  
 運行本数: 鉄道事業者データ(2017年10月)

図 2.3.1 但馬地域の鉄道網

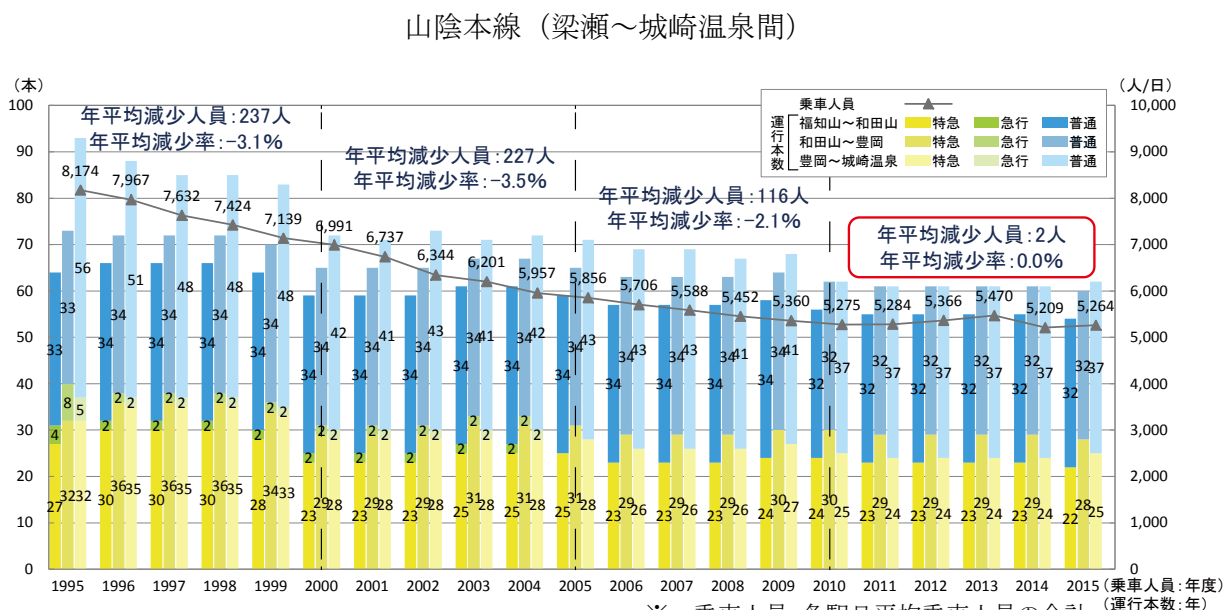
(2) 運行本数と乗車人員の推移

計画区間全体の乗車人員は、図 2.3.2 のとおり減少傾向にあるが、近年は減少速度が緩やかになってきている。また、山陰本線（梁瀬～城崎温泉間）、山陰本線（竹野～居組間）、播但線（寺前～竹田間）の区間ごとの運行本数及び乗車人員の推移は、図 2.3.3～図 2.3.5 のとおりである。



※ 乗車人員：各駅日平均乗車人員の合計  
 ※ 年平均減少人員：対前年減少人員の相加平均  
 ※ 年平均減少率：対前年減少率の相乗平均  
 ※ 年間乗車人員：乗車人員×年間日数  
 出典）平均乗車人員：兵庫県統計書

図 2.3.2 平均乗車人員と年平均減少人員の推移（計画地域全体）



※ 乗車人員：各駅日平均乗車人員の合計  
 ※ 年平均減少人員：対前年減少人員の相加平均  
 ※ 年平均減少率：対前年減少率の相乗平均  
 出典）平均乗車人員：兵庫県統計書  
 運行本数：鉄道事業者データ

図 2.3.3 平均乗車人員、年平均減少人員、運行本数の推移（山陰本線 梁瀬～城崎温泉間）

### 山陰本線（竹野～居組間）

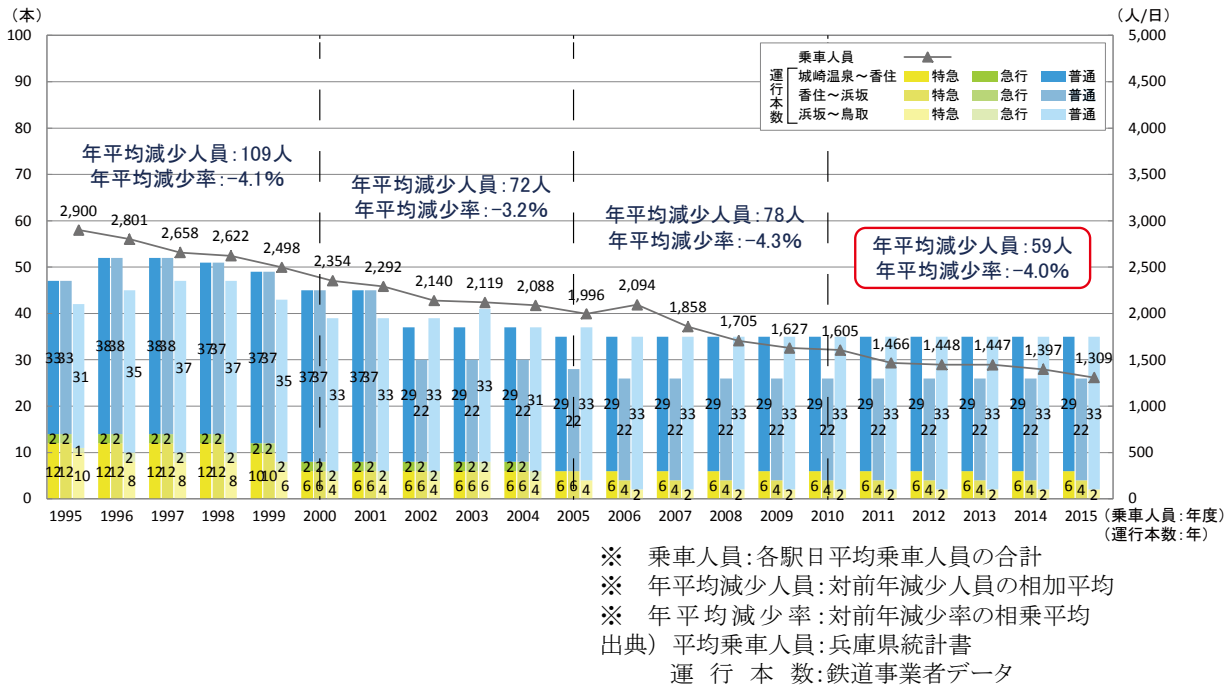


図 2.3.4 平均乗車人員、年平均減少人員、運行本数の推移（山陰本線 竹野～居組間）

### 播但線（寺前～竹田間）

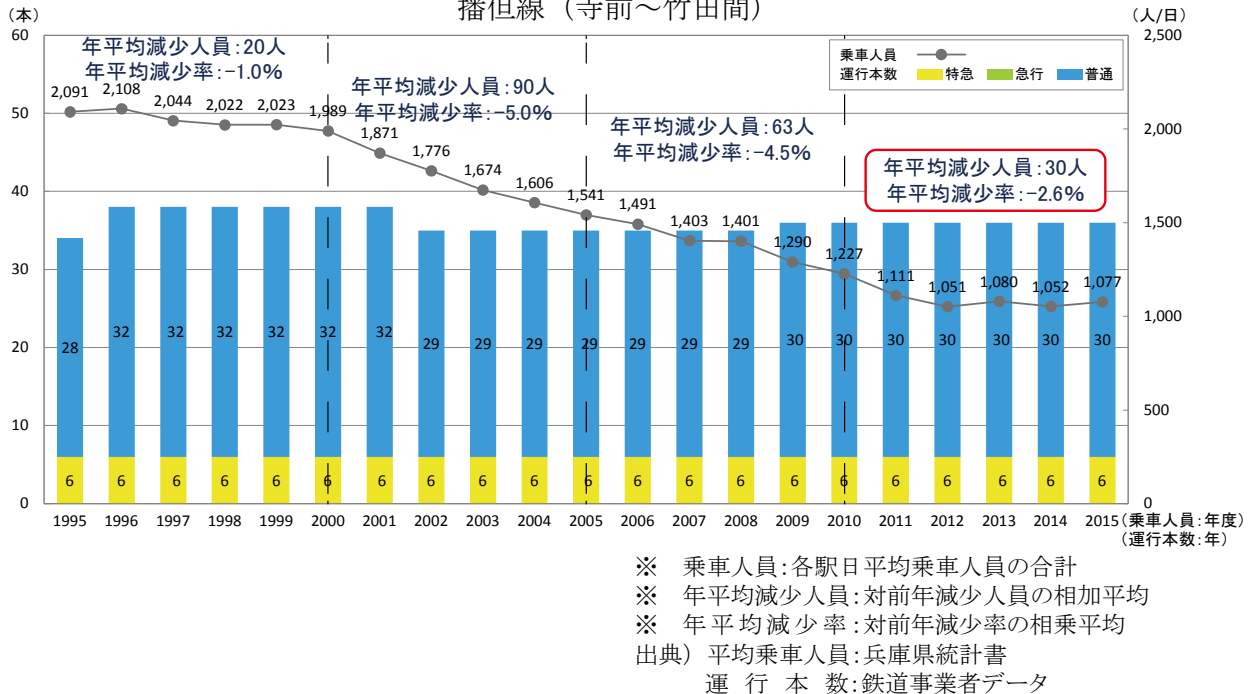


図 2.3.5 平均乗車人員、年平均減少人員、運行本数の推移（播但線 寺前～竹田間）

(3) 駅別施設整備状況

駅別の施設整備状況を表 2.3.1 に示す。

表 2.3.1 駅別施設整備状況

路線・駅名	平成27年度 乗車人員 (人/日)	駅形態	駅員	駅前広場	トイレ		売店等	駐車場	駐輪場	バス運行	レンタ カー	カーシェア リング	レンタ サイクル	コイン ロッカー	パーク & レール	
					駅内 JR管理○ 市町管理◎	駅外 JR管理○ 市町管理◎										
J R 山 陰 本 線	居組	8	1面1線		○											
	諸寄	63	1面1線		○	○		○	○							
	浜坂	280	2面3線	○	○		◎	○	○	○			○	○	○	
	久谷	10	1面1線		○											
	餘部	48	1面1線			◎			○	○						
	鏡	9	1面1線		○	◎				○						
	香住	387	2面3線	○	○	○		○	○	○			○	○	○	
	柴山	110	1面1線		○		◎									
	佐津	118	1面2線		○	◎				○	○					
	竹野	276	2面2線	○	○	○			○	○			○	○		
	城崎温泉	1,080	3面4線	○	○	○	◎	○	○	○		○	○	○		
	玄武洞	30	2面2線		○	○			○	○						
	豊岡	1,929	2面3線	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国府	88	2面2線		○		○		○	○						
	江原	637	1面2線	○	○		◎		○	○	○				○	
	八鹿	573	2面3線	○	○	○	◎		○	○	○					○
	養父	84	1面2線	○	○	○			○	○	○					
和田山	705	2面4線	○	○	○			○	○	○				○	○	
梁瀬	138	1面2線	○	○	○			○	○							
J R 播 但 線	竹田	187	2面2線	○	○		◎	○	○	○			○	○		
	青倉	52	1面1線		○		◎	○	○	○						
	新井	138	2面2線	○	○		◎	○	○	○						
	生野	267	2面2線	○	○		◎	○	○	○			○			
	長谷	15	1面2線		○		○	○	○	○						
	寺前	418	2面3線	○	○		◎	○	○	○			○			

\*) 2017年10月現在

## 2.4 観光客の動向

### (1) 観光客数

観光客は、2010年度（平成22年度）まで減少傾向で推移していたが、竹田城のCM・映画起用や、空の駅のオープンなどにより、2010年度（平成22年度）以降概ね増加傾向で推移し、2015年度（平成27年度）現在で1,094万人である。

市町別観光客数をみると、地域内では豊岡市が最も多く、2015年度（平成27年度）現在で407万人、次いで朝来市が245万人である。

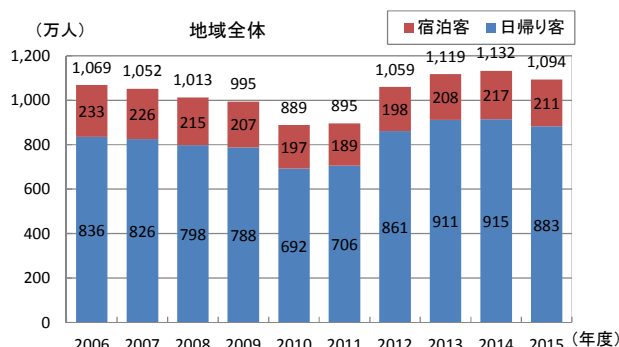


図 2.4.1 地域の観光客数の推移

表 2.4.1 主要観光地への入込数（2015年度）

市町名	観光地名	入込数(万人)
豊岡市	城崎温泉	91
朝来市	竹田城跡	42
新温泉町	湯村温泉	42
豊岡市	出石町内鑑賞	29
豊岡市	コウノトリ文化館	29
香美町	余部橋梁	27
豊岡市	神鍋高原（ゴルフ・テニス）	24
豊岡市	竹野浜海水浴場	21
神河町	グリーンエコー笠形	18
新温泉町	県立牧場公園	17
豊岡市	玄武洞公園	15
朝来市	立雲峡	4

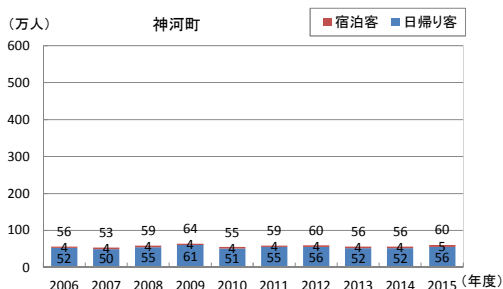
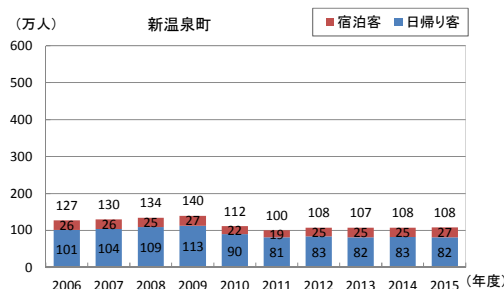
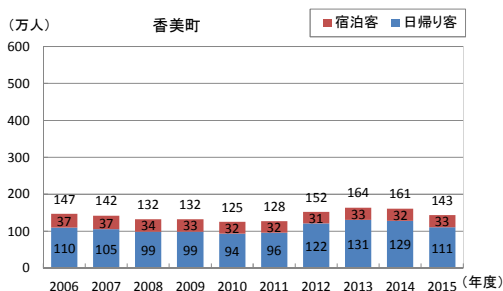
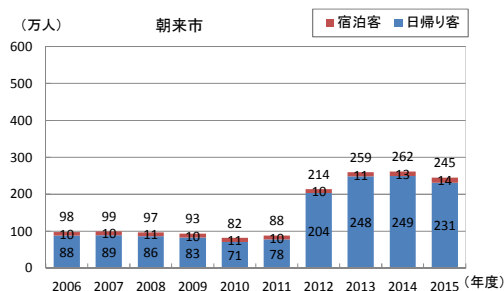
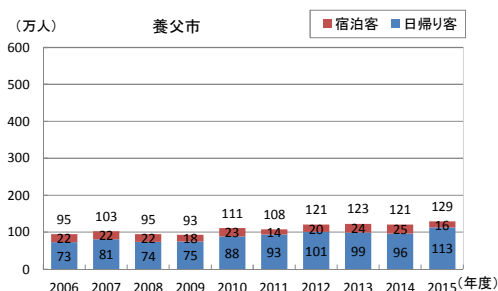
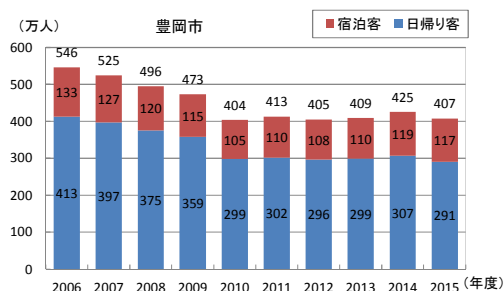
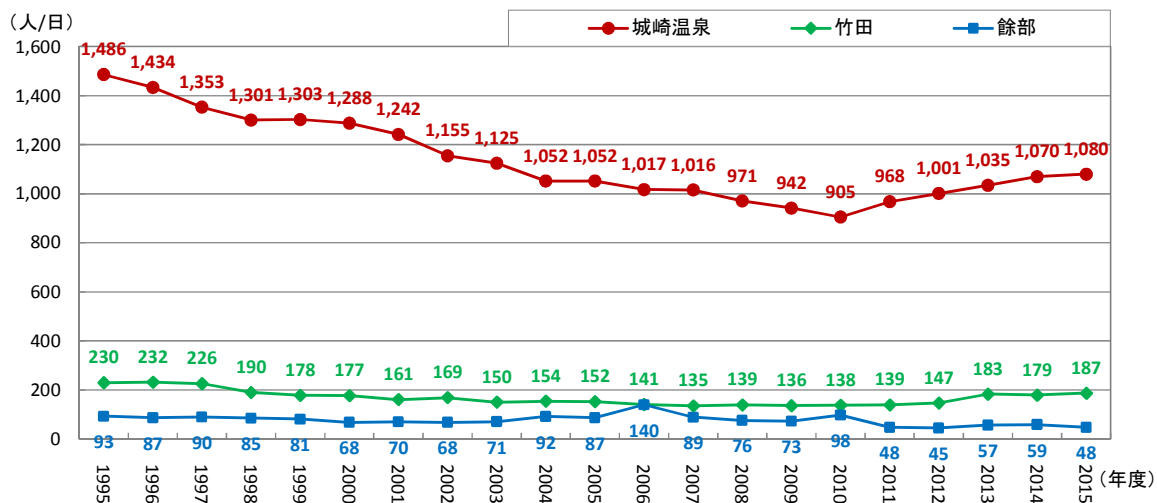


図 2.4.2 市町別観光客数の推移

出典：兵庫県観光客動態調査報告書

(2) 観光客数と鉄道利用数

観光施設に隣接する鉄道駅3駅の乗車人員の推移をみると、2011年度（平成23年度）以降、城崎温泉駅、竹田駅は、乗車人員が増加傾向にあり、観光客数も2012年度（平成24年度）以降増加していることから（図2.4.1参照）、観光客の増加が鉄道利用者増の一因だと考えられる。



出典:兵庫県統計書

図 2.4.3 城崎温泉駅、竹田駅、餘部駅における鉄道乗車人員の推移

表 2.4.2 観光客増に関する主な出来事

年度	観光客増に関する主な出来事
2011	・竹田城跡が名城百選に選定
2013	・竹田城跡が大手企業CMに起用 ・展望施設「空の駅」がオープン
2014	・竹田城跡の映画をはじめとしたメディアでの露出 ・城崎温泉の首都圏、関西圏に加え中京圏での誘客効果や外国人観光客の増加

出典:兵庫県観光客動態調査報告書

## 2.5 人の動き【第5回近畿圏パーソントリップ調査】

### (1) 外出率

地域の外出率は77%であり、年齢階層別にみると、65歳以上は53%と他の年齢層に比べて低い。また、兵庫県全体と比べても低い。

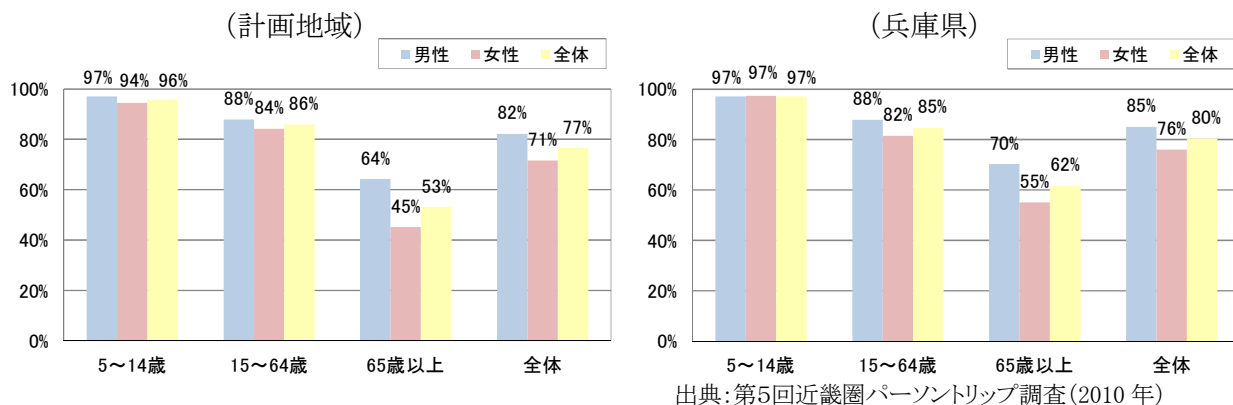


図 2.5.1 年齢階層別外出率

### (2) 利用交通手段

地域の代表交通手段は、平日、休日ともに7割以上が自動車利用である。鉄道やバスの公共交通利用分担率は、平日5%、休日3%であり、兵庫県全体と比較して低い。

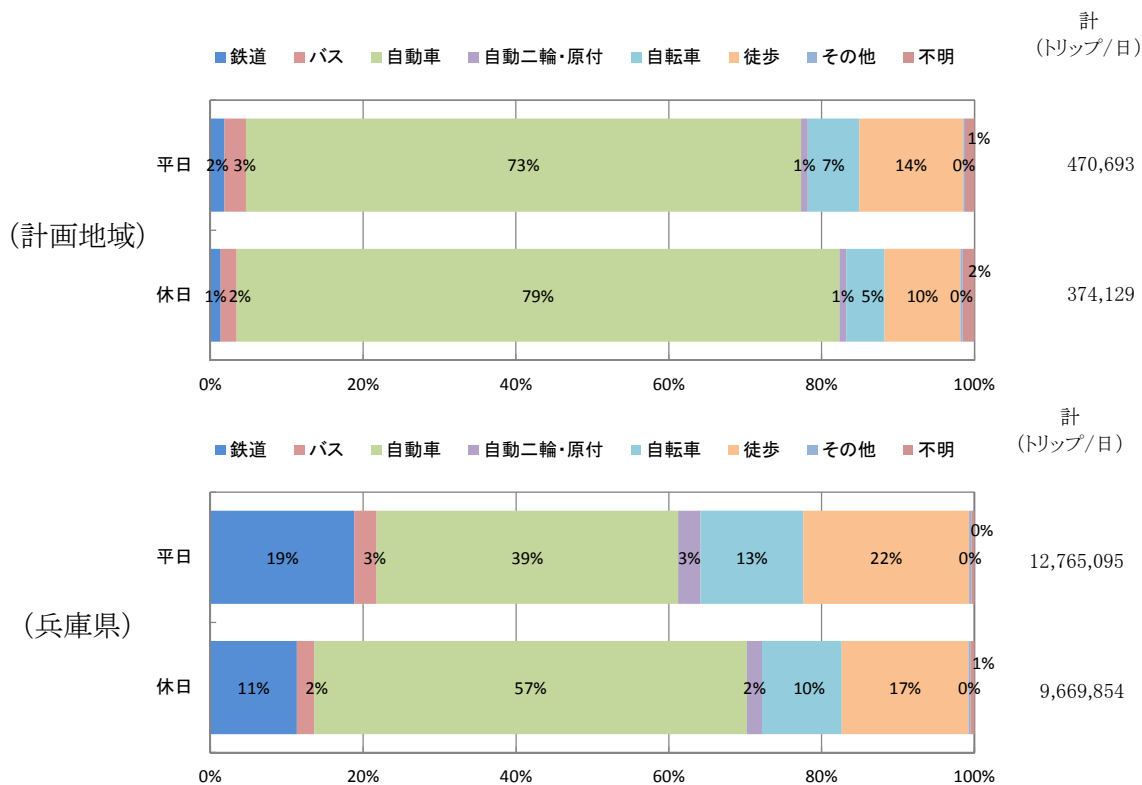
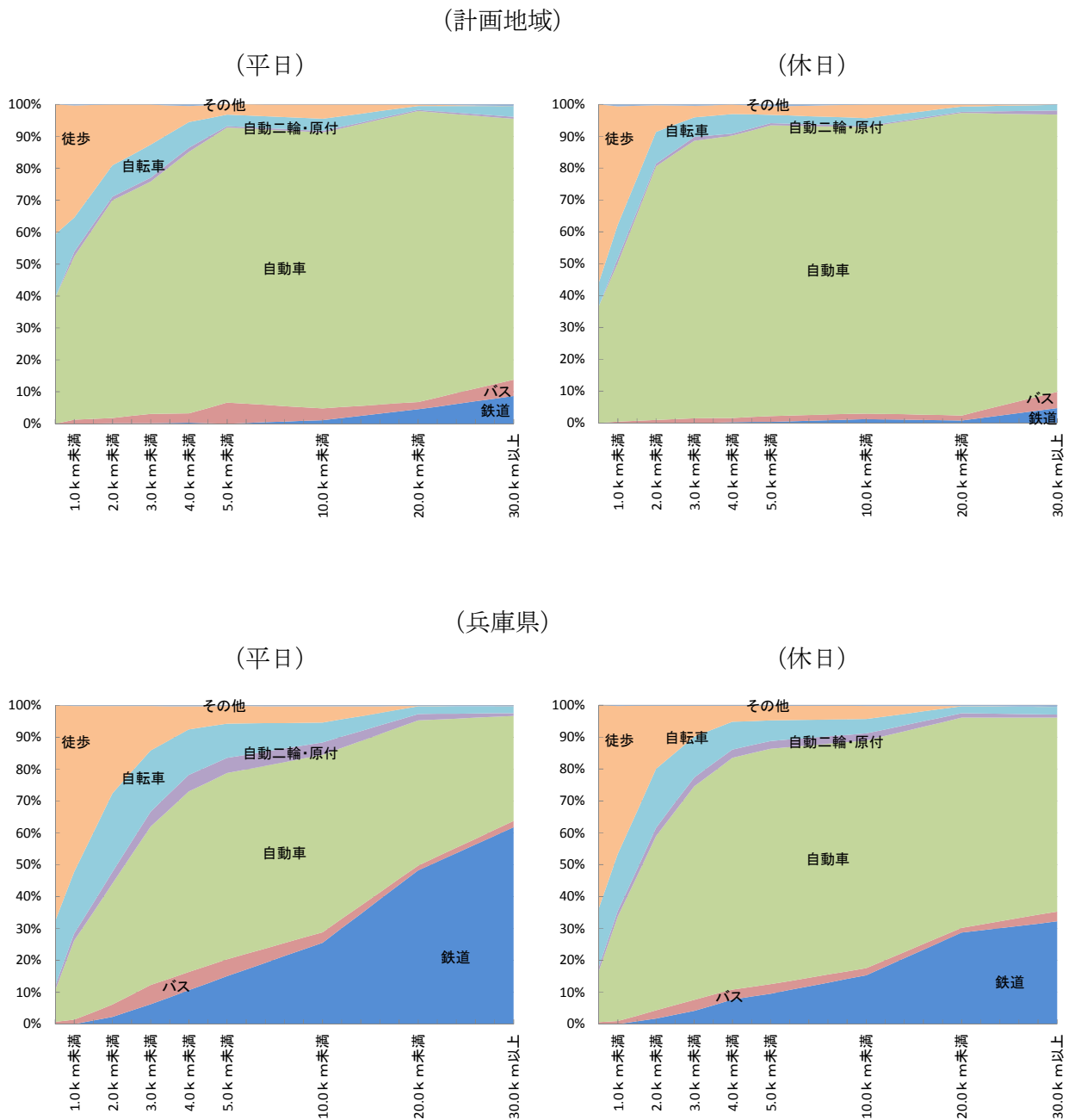


図 2.5.2 地域関連トリップの代表交通手段分担率



移動距離帯別に代表交通手段分担率をみると、全ての距離帯で自動車利用が多くなっている。鉄道は、全ての距離帯で分担率が1割未満と低いものの、平日、休日ともに5 km以上で比較的分担率が高い。

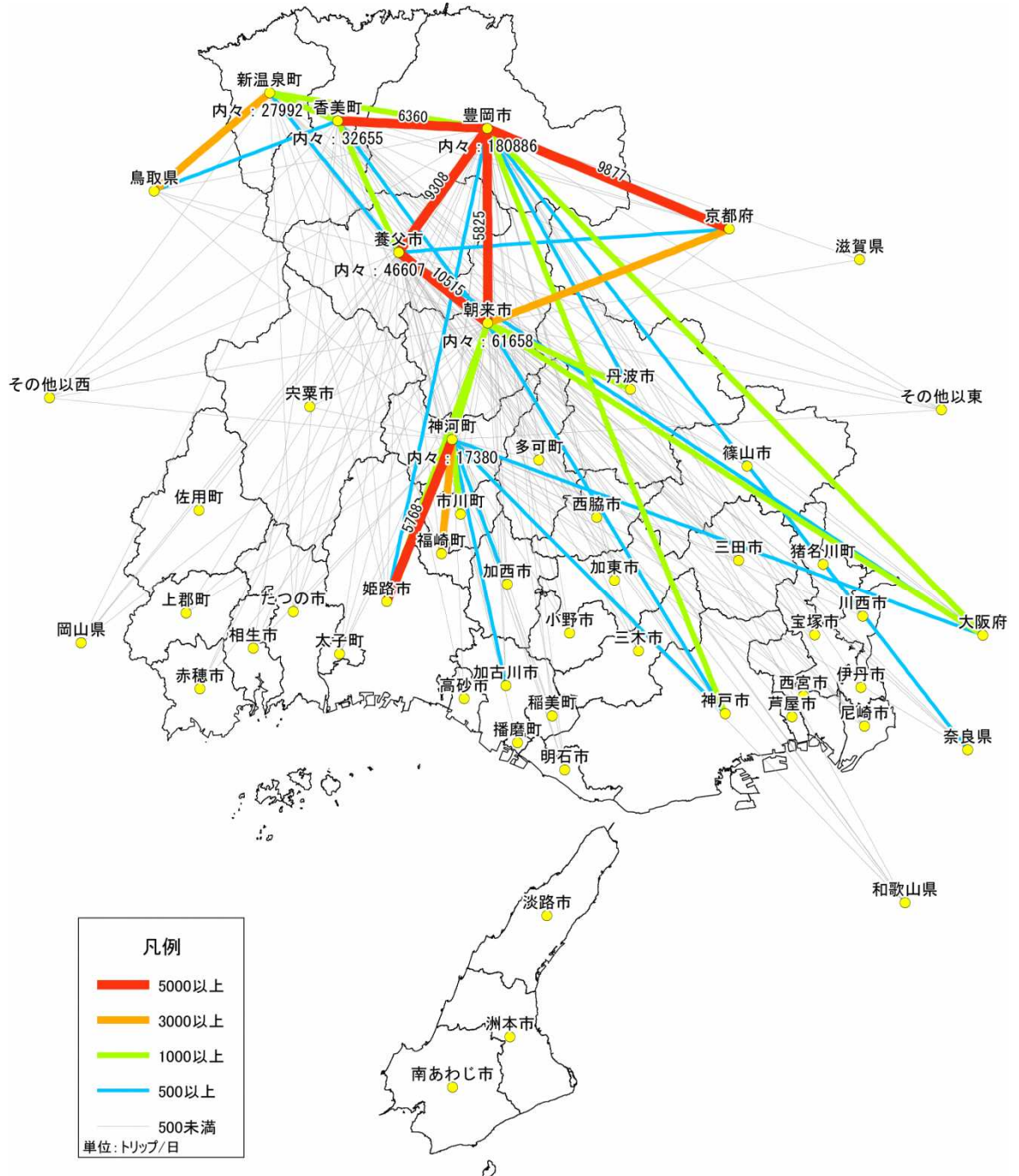


出典：第5回近畿圏パーソントリップ調査(2010年)

図 2.5.3 地域関連トリップの移動距離帯別代表交通手段分担率

### (3) 市町間流動

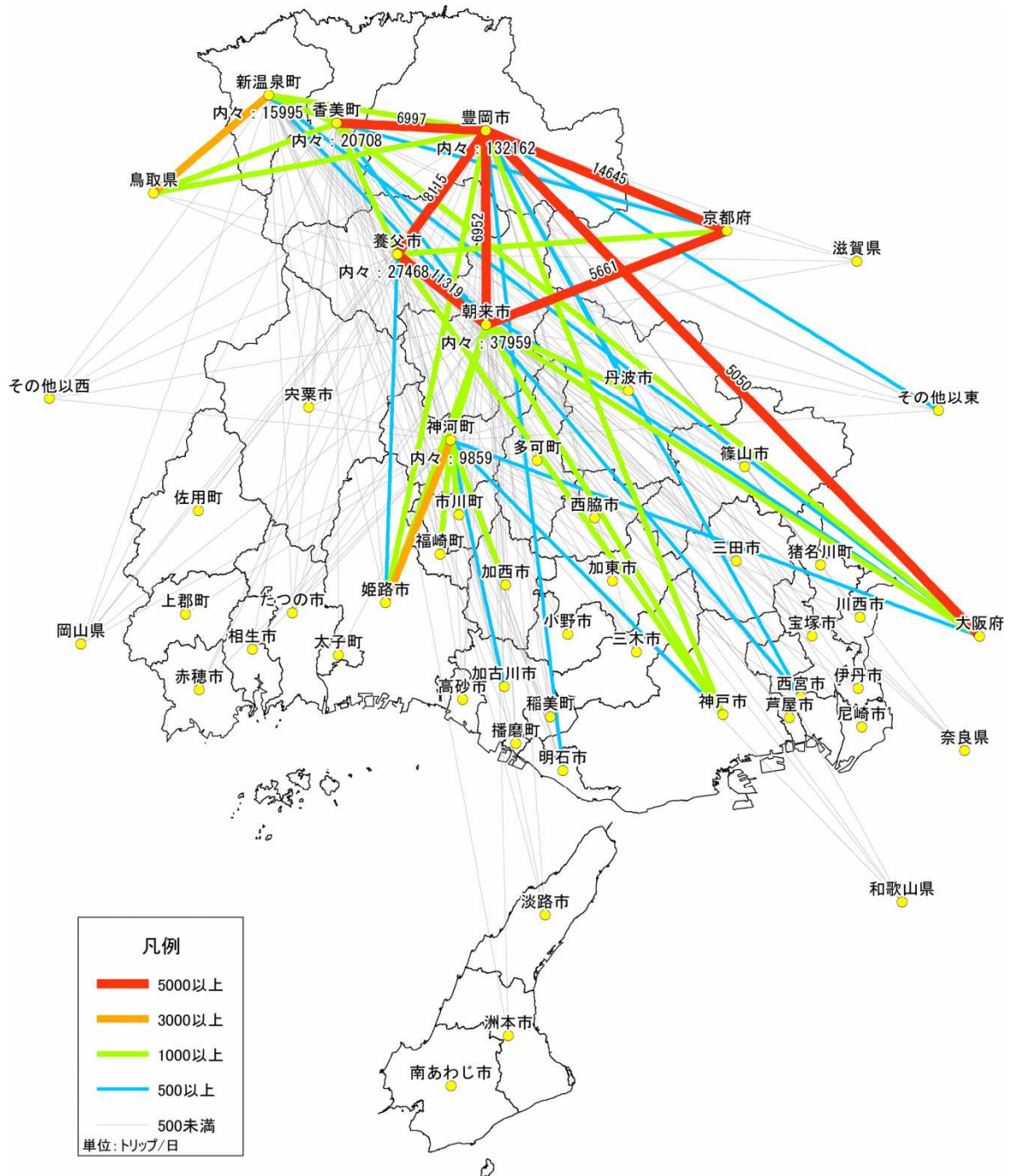
平日の地域関連トリップの市町間流動をみると、県内で最も流動量が多いのは、養父市、朝来市間で約 11,000 トリップ/日である。その他、豊岡市と養父市、香美町、朝来市との移動、神河町と姫路市の移動も多い。県外との移動では、豊岡市と京都府、新温泉町と鳥取県、朝来市と京都府の移動が比較的多い。



総トリップ数:103,424 T/日  
 (内々:367,178 T/日、出発地または到着地が不明:91 T/日を除く)  
 出典:第5回近畿圏パーソントリップ調査(2010年)

図 2.5.4 市町間流動(平日)

休日の地域関連トリップの市町間流動をみると、県内で最も流動量が多いのは、養父市、朝来市で約 11,000 トリップ/日である。その他、豊岡市と養父市、香美町、朝来市との移動、神河町と姫路市の移動も多い。県外との移動では、豊岡市と京都府、大阪府、朝来市と京都府の移動が多い。



総トリップ数: 129,943 T/日  
 (内々: 244,151 T/日、出発地または到着地が不明: 35 T/日を除く)  
 出典: 第5回近畿圏パーソントリップ調査(2010年)

図 2.5.5 市町間流動 (休日)

## 2.6 人の動き【第5回全国幹線旅客純流動調査】

但馬地域の日常生活圏を越えた交通の特性分析を行うため、第5回（2010年度）全国幹線旅客純流動調査について集計を行った。

全手段の流動については、全目的、観光目的ともに鳥取県東部からの流動が最も多く、岡山県の津山地域や県南地域がつづく。

一方、鉄道を利用した流動については、全目的、観光目的ともに関東、中部、四国といった遠方からの流動が多く、全手段で最も多い鳥取県東部からの流動は非常に少なくなっている。

表 2.6.1 但馬地域への流動（全目的）

平日		休日					
全手段	鉄道	全手段	鉄道				
(単位:人/日)		(単位:人/日)					
目的地	兵 庫	目的地	兵 庫				
出発地	但馬地域	出発地	但馬地域				
鳥取東部	2,824	愛知名古屋	25	鳥取東部	2,869	東京23区	115
岡山津山	128	鳥取西部	21	岡山県南	309	滋賀南部	75
岡山県南	99	東京23区	18	滋賀南部	229	神奈川横浜	35
静岡中部	91	愛媛今治	16	鳥取中部	221	岡山県南	31
滋賀南部	90	福岡福岡	14	岡山津山	171	東京多摩	30
東京23区	54	千葉千葉	12	東京23区	143	岐阜岐阜	22
山口徳山	49	神奈川横浜	12	岐阜岐阜	139	愛知豊田	22
鳥取西部	31	岡山県南	11	福井嶺南	87	広島広島	21
福井嶺南	30	鳥根松江	10	広島広島	79	茨城土浦	16
愛知名古屋	30	茨城水戸・日立	9	徳島徳島	74	三重北勢	16

表 2.6.2 但馬地域への流動（観光目的）

平日		休日					
全手段	鉄道	全手段	鉄道				
(単位:人/日)		(単位:人/日)					
目的地	兵 庫	目的地	兵 庫				
出発地	但馬地域	出発地	但馬地域				
鳥取東部	586	愛媛今治	14	鳥取東部	1,095	岡山県南	31
岡山津山	127	岡山県南	11	岡山県南	264	神奈川横浜	28
岡山県南	69	鳥根松江	7	鳥取中部	219	東京23区	26
滋賀南部	66	山梨郡内	4	滋賀南部	153	滋賀南部	26
福井嶺南	24	鳥取西部	3	岡山津山	149	広島広島	18
東京23区	18	愛知名古屋	2	岐阜岐阜	90	三重北勢	16
愛知豊田	18			福井嶺南	82	和歌山和歌山	13
愛媛今治	14			広島広島	54	岐阜岐阜	12
岐阜岐阜	11			徳島徳島	54	石川加賀	11
三重伊勢志摩	8			和歌山和歌山	50	鳥取東部	9

出典：第5回（2010年度）全国幹線旅客純流動調査

※近畿2府2県（京都府、大阪府、兵庫県、奈良県）からの流動については調査対象外

### 3. アンケート調査結果

#### 3.1 アンケート調査概要

対象地域における鉄道の利用意向を把握するため、観光客、住民、鉄道利用者にアンケート調査を行った。

表 3.1.1 アンケート調査概要

調査種別	調査目的	調査日	調査方法
観光客	観光客の移動実態、意向等の把握	2017年8月20日(日)	「城崎温泉」「湯村温泉」「道の駅あまるべ」「竹田城跡」「あゆ公園」「ヨーデルの森」に調査員を配置し、施設利用者(グループ代表者1名)を対象としたヒアリング調査を実施
住民	駅周辺の居住者の鉄道利用状況等の把握	2017年10月25日(水)～ 2017年11月10日(金)	鉄道駅から3,000m圏の大字から以下の一覧に示す地域を無作為抽出し、郵送によるアンケート調査を実施
鉄道利用者	利用促進策検討のための鉄道利用者の意向把握	2017年9月28日(木)	地域内の主要駅等で、アンケート調査票を配布し、郵送回収を実施

表 3.1.2 観光客アンケート調査回収状況

調査対象施設	回答者数(票)
城崎温泉(豊岡市)	142
湯村温泉(新温泉町)	67
道の駅あまるべ(香美町)	84
竹田城跡(朝来市)	108
あゆ公園(養父市)	59
ヨーデルの森(神河町)	59
その他	213
合計	732

表 3.1.4 鉄道利用者アンケート回収状況

調査対象駅	配布数(枚)	回答数(枚)	回収率
寺前駅	108	11	10.2%
和田山駅	250	56	22.4%
八鹿駅	175	30	17.1%
江原駅	173	19	11.0%
豊岡駅	550	76	13.8%
香住駅	105	18	17.1%
浜坂駅	102	26	25.5%
その他	120	120	100.0%
合計	1,583	356	22.5%

表 3.1.3 住民アンケート調査回収状況

郵便番号	市町名	大字名	最寄り駅	配布数(枚)	回収数(枚)	回収率
6680056	豊岡市	妙楽寺	豊岡	221	38	17.2%
6680047	豊岡市	三坂町	豊岡	218	40	18.3%
6680041	豊岡市	大磯町	豊岡	177	38	21.5%
6695326	豊岡市	日高町池上	国府	116	30	25.9%
6695325	豊岡市	日高町堀	国府	112	21	18.8%
6670022	養父市	八鹿町下網場	八鹿	291	29	10.0%
6695203	朝来市	和田山町寺谷	和田山	200	52	26.0%
6793302	朝来市	生野町円山	生野	165	36	21.8%
6793115	神河町	比延	寺前	70	13	18.6%
6793102	神河町	栗	長谷	68	16	23.5%
6696671	香美町	香住区余部	餘部、鎧	197	50	25.4%
6696747	新温泉町	三谷	浜坂	165	30	18.2%
		不明		-	24	-
		合計		2,000	417	20.9%

### 3.2 観光客アンケート

#### (1) 交通手段

出発地別に見ると、県外からの来訪者は 27%が鉄道利用であり、県内からの来訪者の鉄道利用（11%）と比較して鉄道利用割合が高い。

また、観光地別に見ると、城崎温泉への来訪者の 42%が鉄道利用であり、他の観光施設の鉄道利用（13%）と比較して鉄道利用割合が高い。

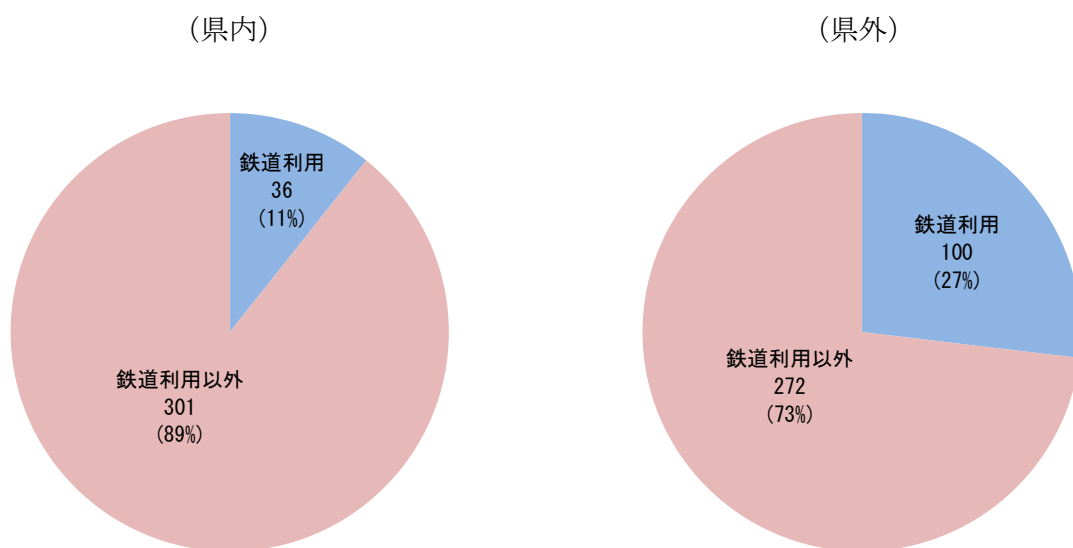


図 3.2.1 観光客の鉄道利用割合（出発地別）

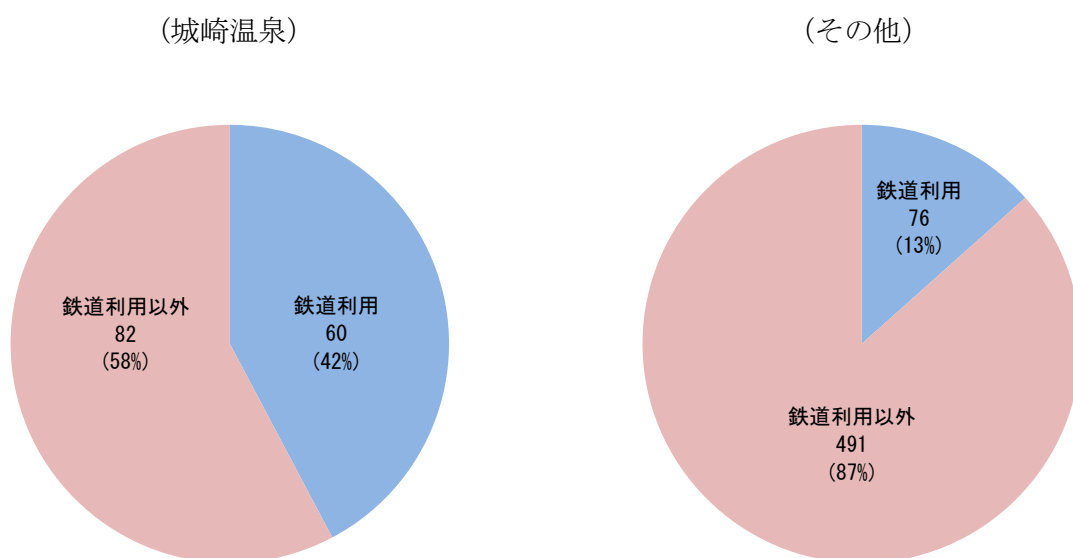


図 3.2.2 観光客の鉄道利用割合（観光地別）

## (2) 鉄道の非利用理由

鉄道を利用しなかった理由は、「時間がかかるから」が35%と最も高く、次いで「乗継ぎが不便だから」21%、「運賃が高いから」18%の順となっている。

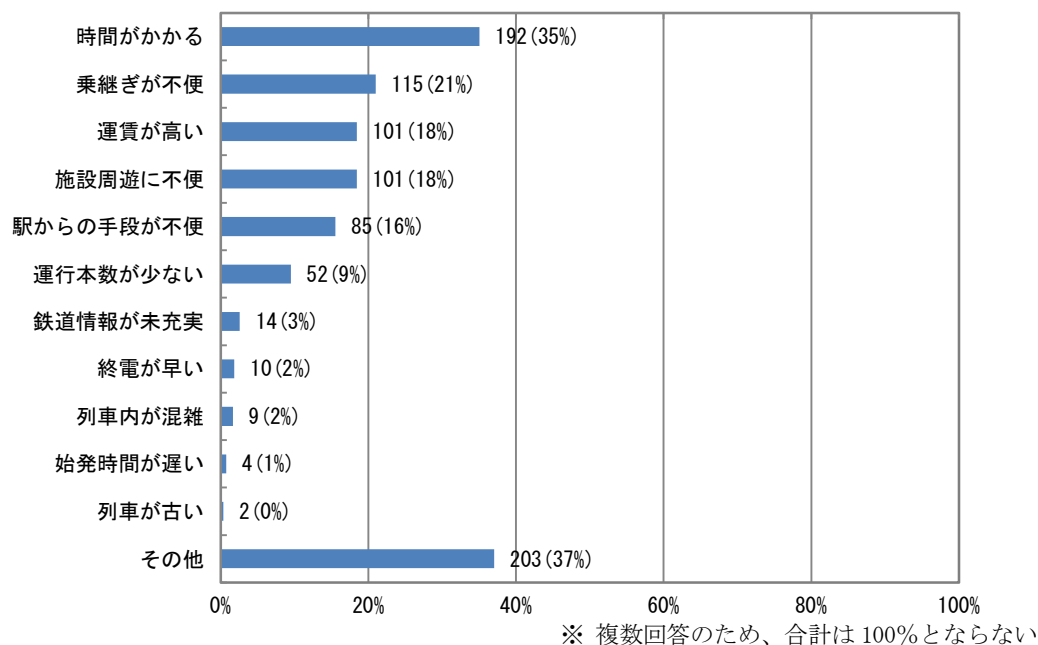


図 3. 2. 3 観光客の鉄道非利用理由

## (3) 参考媒体

観光ルートを決めるにあたって参考にした媒体については、全体では「各施設HP」の割合が24%と最も高く、次いで「観光協会HP」23%、「SNS」13%の順となっている。

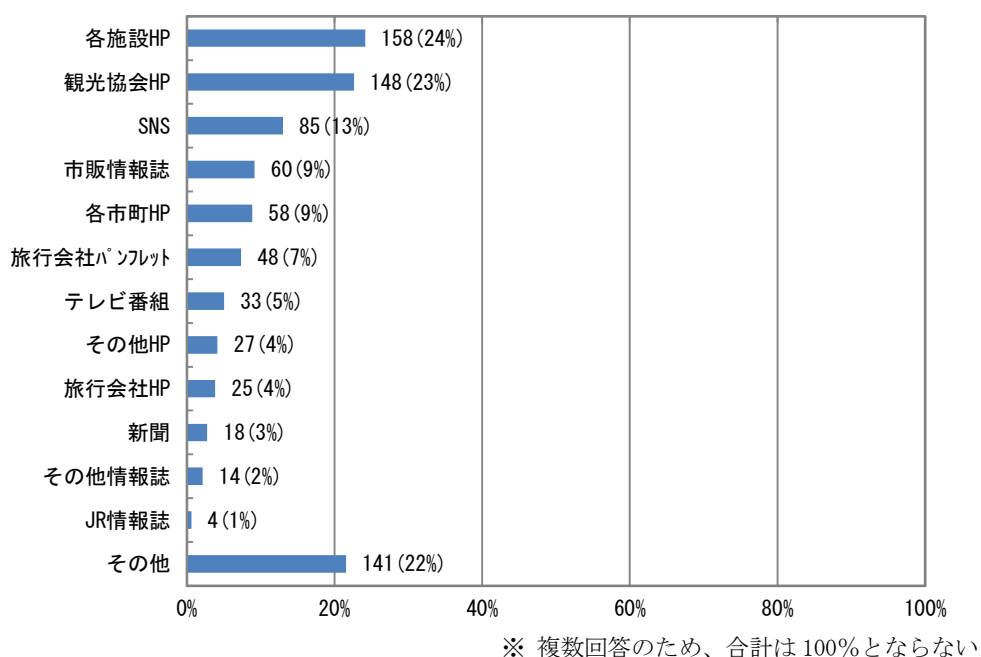
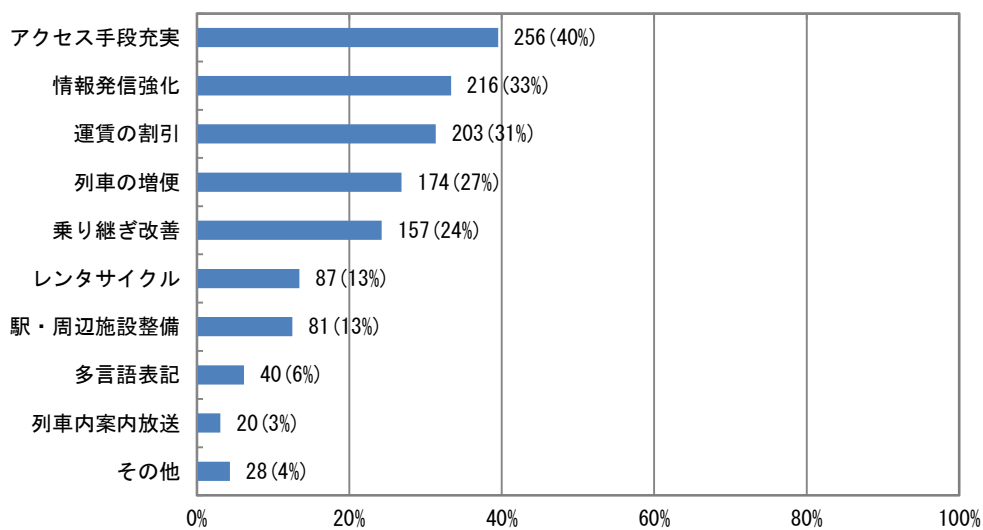


図 3. 2. 4 観光ルートを決めるにあたり参考にした媒体

(4) 鉄道を利用した観光地周遊を促進するため、特に効果的だと思う取組

鉄道利用による観光地周遊促進に効果的だと思う取組については、全体では「駅から主要観光地へのアクセス手段の充実」の割合が40%と最も高く、次いで「駅周辺の観光地の情報発信強化」33%、「運賃の割引」31%の順となっている。



※ 複数回答のため、合計は100%とならない

図 3.2.5 鉄道を利用した観光地周遊を促進するため、特に効果的だと思う取組

(5) 兵庫県北部地域の観光にあわせて、鳥取県へ観光に行きたいと思うか

鳥取県への観光については、全体の72%が「行きたい」との意向がある。

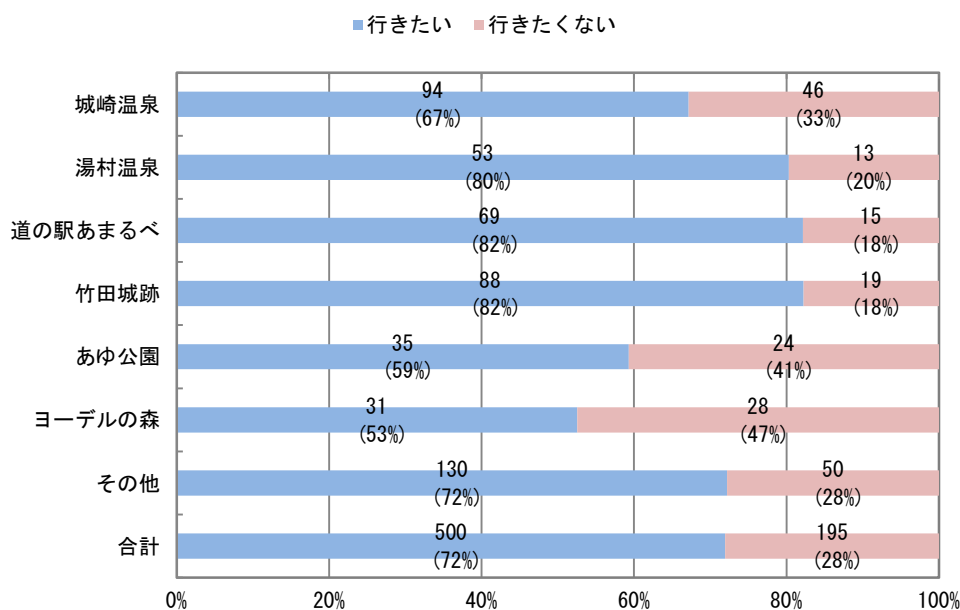


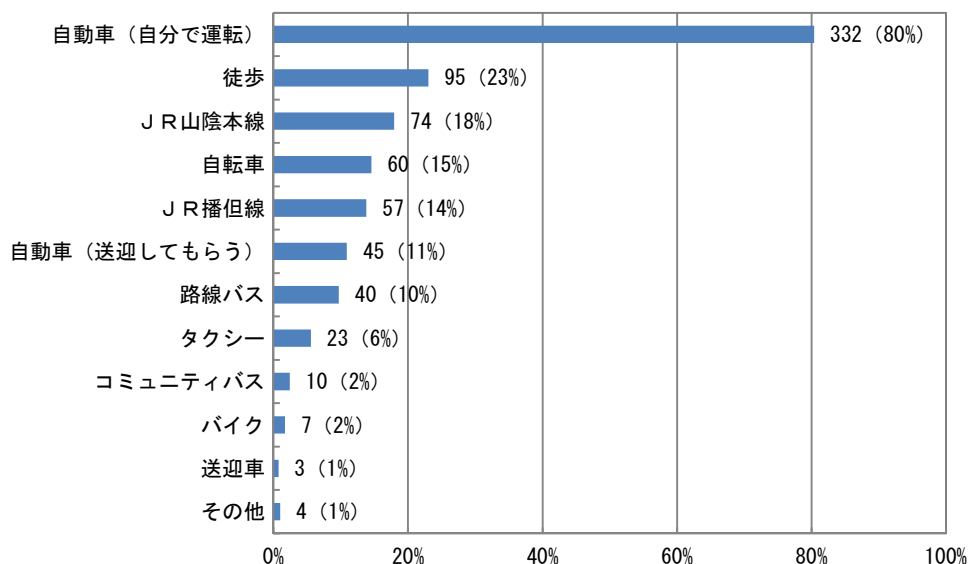
図 3.2.6 兵庫県北部地域の観光にあわせて鳥取県への観光意向



### 3.3 住民アンケート

#### (1) 移動手段

住民の外出時の交通手段は、自動車の利用割合が80%と高い。JR山陰本線は18%、播但線は14%の住民が外出手段として利用している。

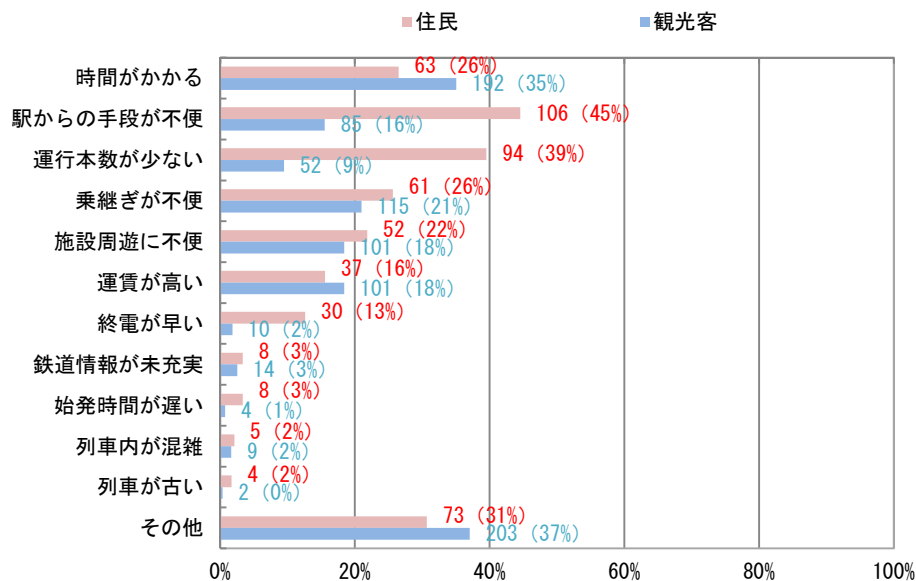


※ 複数回答のため、合計は100%とにならない

図 3.3.1 住民の移動手段

#### (2) 鉄道非利用理由

観光客と比較して、「駅からの手段が不便」「運行本数が少ない」と回答した人が大幅に多い。



※ 観光客は、観光客アンケートの結果

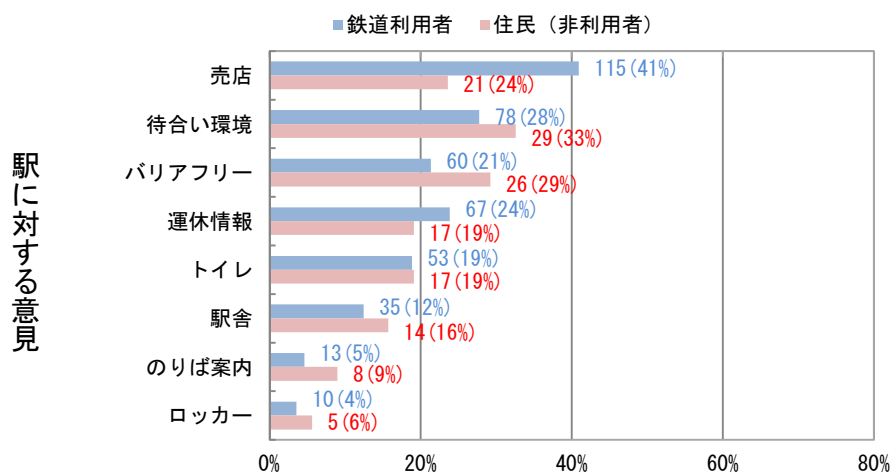
※ 複数回答のため、合計は100%とにならない

図 3.3.2 住民と観光客の鉄道非利用理由

### 3.4 鉄道利用者アンケート

#### (1) 駅施設に対する意見

駅では、利用者、非利用者ともに「売店」「待合い環境」を望んでおり、非利用者では「バリアフリー」を望む割合も高い。

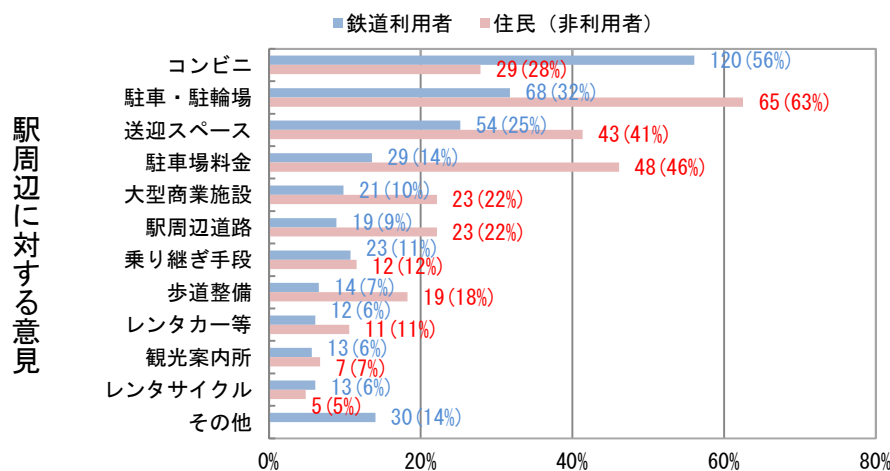


※ 住民 (非利用者) は、住民アンケートで「鉄道を利用しない」と回答した人の意見  
 ※ 複数回答のため、合計は100%とならない

図 3.4.1 駅施設に対する意見

#### (2) 駅周辺施設に対する意見

駅周辺では、利用者は「コンビニ」、非利用者は「駐車・駐輪場」「駐車場料金」「送迎スペース」等、自動車による駅へのアクセス改善を望んでいる。

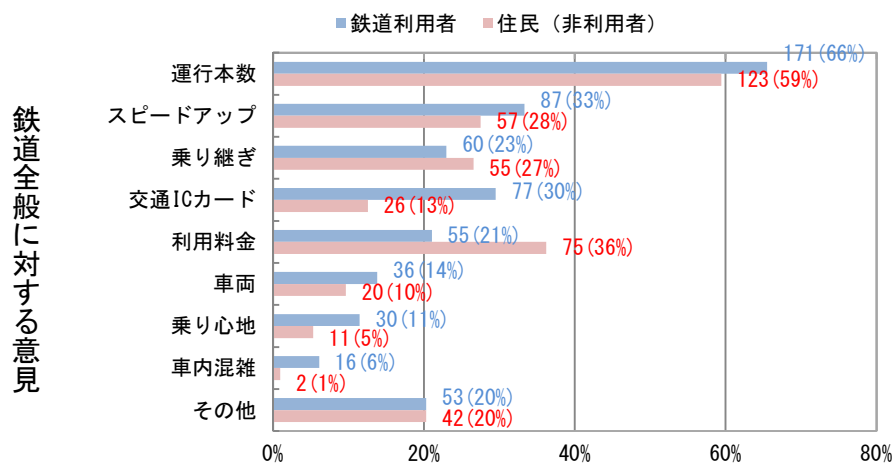


※ 住民 (非利用者) は、住民アンケートで「鉄道を利用しない」と回答した人の意見  
 ※ 複数回答のため、合計は100%とならない

図 3.4.2 駅周辺施設に対する意見

### (3) 鉄道全般に対する意見

鉄道全般では、利用者、非利用者ともに「運行本数」の増加や「スピードアップ」を望んでおり、非利用者では「利用料金」「乗り継ぎ」の見直しを求める意見も多い。



※ 住民（非利用者）は、住民アンケートで「鉄道を利用しない」と回答した人の意見  
※ 複数回答のため、合計は100%とならない

図 3.4.3 鉄道全般に対する意見

#### 4. これまでの取組とその効果

2006年（平成18年）3月に策定した「但馬地域鉄道利便性向上対策アクションプログラム」に掲載した施策および、策定後に企画した施策について実施状況を整理した。

##### 4.1 輸送サービス向上

輸送サービス向上については、余部鉄橋架替事業によって強風による運休本数が大幅に減少し、山陰本線の定時性が向上した。

また、JR山陰本線、播但線高速化事業によって、特急列車の運行時間が寺前～浜坂間で最大10分短縮されるなど、利便性が向上した。

表 4.1.1 輸送サービス向上実施状況（前アクションプログラム掲載分）

対象駅・区間	施策の内容	実施主体	実施有無	実施時期	効果	備考
余部橋梁	余部鉄橋架替事業	JR、市町、兵庫県、鳥取県	○	H22完了	風規制が20m/s⇒30m/sへ緩和 橋脚の一部を利用した「空の駅」完成(H25)	橋梁架替工事 延長:307m
城崎温泉以西	JR山陰本線高速化事業	JR、市町、兵庫県	○	H24～H25	「はまかぜ」速達化(大阪～鳥取20分程度)	軌道改良、信号施設改良、クランク改良 新型車両導入(特急はまかぜ)等
和田山～城崎温泉	JR山陰本線高速化事業	JR、市町、兵庫県	○	H24～H25		
寺前～和田山	JR山陰本線高速化事業	JR、市町、兵庫県	○	H24～H25		
全区間	増便	JR	○	H20～	浜坂・香住～城崎間運行列車を豊岡まで延伸(H20) 播但線より20時台増発(H21) 山陰海岸ゾライナー運転(H23～) 「きのさき1号」設定(H27)	ダイヤ調整による設定
全区間	ダイヤ調整	JR	○	H18～	播但線⇄山陰線との接続時分短縮、播但線最終列車から福知山方面列車に接続(H18) 浜坂駅での接続時分短縮(H24)	
全区間	車輛増結	JR	○	H26	利用実績に合わせた編成見直し(寺前～和田山)	

表 4.1.2 輸送サービス向上実施状況（前アクションプログラム非掲載分）

対象駅・区間	施策の内容	実施主体	実施有無	実施時期	効果	備考
全区間	新型車両の導入	JR	○	H23～	こうのとり:289系、287系の導入 はまかぜ:189系の導入	
全区間	竹田城跡号の導入	JR	○	H26	車両ラッピング、内装の改装による鉄道利用促進	

## 4.2 駅活性化

駅活性化は、前回プログラムに掲載した施策について、37事業中31事業が実施済で、さらに41事業を新たに実施した。

具体的には、鉄道利用上の問題点として挙げられていた駅前駐車場を新たに10駅(豊岡駅、八鹿駅、養父駅、和田山駅、梁瀬駅、竹田駅、青倉駅、新井駅、生野駅、長谷駅)で設置・拡大し、駅前広場を3駅(豊岡駅、和田山駅、生野駅)で整備することで、自動車による駅へのアクセス性を向上させた。また、駅施設の改善としてトイレの設置・改修を6駅(八鹿駅、餘部駅、鎧駅、柴山駅、城崎温泉駅、竹田駅)で実施した。

今後、和田山駅の自由通路整備および浜坂駅周辺の整備について、引き続き実施に向けた検討を進める必要がある。

表 4.2.1 駅活性化事業実施状況(前アクションプログラム掲載分)

駅名	施策の内容	実施主体	実施有無	事業継続	備考
浜坂駅	浜坂駅南北駅前広場整備	新温泉町	×	/	検討の結果、実施見送り
	浜坂駅自由通路整備	新温泉町	×	/	検討の結果、実施見送り
	駅前商店街目抜き通り整備	新温泉町	×	/	検討の結果、実施見送り
	浜坂駅港湾線街路事業	兵庫県	○	○	浜坂北小学校～駅前間の事業中
	駅北側商店街通りの修景整備	新温泉町	×	/	検討の結果、実施見送り
	浜坂駅活性化協議会	新温泉町	×	/	H19年3月に協議会解散
香住駅	花のプランターの設置	老人クラブ	○	×	事業主体の事業見直しにより終了
	JR香住駅構内安全確認業務(巡回業務の委託)	香美町	○	×	当初目的を達成したとの判断により終了
	短歌俳句祭入賞作品展示	香美町	○	×	母体事業終了に伴い終了
	駅構内の清掃	香住地区青少年育成推進会議	○	○	
佐津駅	駅構内の清掃	香住第二中学校生徒会	○	○	
竹野駅	乗車券類の委託販売	竹野産業振興協議会	○	○	
	観光特産品の販売	竹野産業振興協議会	○	○	
豊岡駅	観光協会事務所の駅舎内配置	豊岡市観光協会	○	/	
	豊岡駅のバリアフリー化	豊岡市	○	/	
	豊岡駅前広場整備	豊岡市	○	/	
	パーク&レールきっぷ利用駐車場の拡充(駐車場43台)	JR・豊岡市	○	○	
豊岡駅等	あんしん歩行エリアの整備(豊岡駅東側、歩道整備)	県警・豊岡市・兵庫県	○	/	
	バス交通体系の見直し	豊岡市	○	○	
	コミュニティバスの実証運行	豊岡市	○	○	
八鹿駅	鉄軌道近代化設備整備事業	KTR、豊岡市、兵庫県、国	○	/	
	駅前の美化	養父市	○	○	
	駅周辺の美化(駅前～312号線間)	養父市	○	○	
	八鹿駅公衆便所等設置維持管理	養父市	○	○	
	JR八鹿駅構内看板の設置	養父市	○	○	
	八鹿駅前 月極駐車場の設置、管理運営	養父市	○	○	
養父駅	交通安全施設設置工事(駅前白線維持)	養父市	○	○	
	養父駅 発券業務、駅舎・トイレ施設の美化清掃業務	養父市	○	○	
養父駅・八鹿駅	養父駅前 月極駐車場の設置、管理運営(駐車場、駐輪場、定期券購入者の減額)	養父市	○	○	
和田山駅	バス路線網の見直し	養父市	○	○	
	駅前広場整備事業	朝来市	○	/	
和田山駅等	和田山駅自由通路	朝来市	×	○	継続検討中
	バス路線網の見直し	朝来市	○	○	
生野駅	コミュニティバスの導入	朝来市	○	○	
	駐輪場の整備	朝来市	○	/	
	駅前アクセス道路の整備	朝来市	○	/	
生野駅	駅多機能化整備(駅前広場、案内標識等充実)	朝来市	○	/	

表 4.2.2 駅活性化事業実施状況（前アクションプログラム非掲載分）

駅名	施策の内容	実施主体	実施有無	事業継続	備考
浜坂駅	鉄道グッズ館「鉄子の部屋」オープン	新温泉町	○	○	
	顔出しイラスト看板更新	新温泉町	○	/	
	まち歩き案内所「松籟庵」オープン	新温泉町	○	○	
	駅前足湯の設置	新温泉町	○	/	
	駅前駐輪場の確保	新温泉町	○	/	
餘部駅	駅トイレ設置	兵庫県	○	/	
	余部クリスタルタワーの設置	香美町	○	/	
鎧駅	駅トイレ改修	香美町	○	/	
香住駅	駅舎入口スロープ設置	JR(香美町負担)	○	/	
	駅トイレ改修	JR	○	/	
柴山駅	駅前トイレ設置	香美町	○	/	
佐津駅	駅前駐輪場屋根設置	香美町	○	/	
竹野駅	駅トイレ改修	JR	○	/	
城崎温泉駅	駅前公衆トイレ整備	豊岡市	○	/	
	ロッカー整備(待合室改修等)	豊岡市	○	/	
	デジタルサインによる情報発信	豊岡市・城崎観光協会	○	/	
	駅前広場等の整備・イベント利用	豊岡市・城崎観光協会	○	/	
	駅舎、トイレ改修	JR	○	/	
	駅舎内特産品売店設置	JR	○	/	
豊岡駅	駅前改修	豊岡市	○	/	
	駅連絡通路に黒田征太郎のイラストラッピング	豊岡市	○	/	
	豊岡市営豊岡駅前駐車場利用料金の改定 (最大利用料金を1,000円から800円に値下げ)	豊岡市	○	/	
	特産品展示スペースの整備	豊岡市	○	/	
	コインロッカーの整備	豊岡市	○	/	
	待合室整備	JR	○	/	
八鹿駅	駅トイレ改修	JR	○	/	
梁瀬駅	駅前駐車場・駐輪場の設置	朝来市	○	/	
和田山駅	駅前駐車場・駐輪場の設置	朝来市	○	/	
竹田駅	竹田駅改修工事	JR	○	/	
	竹田駅前トイレ改修工事	朝来市	○	/	
	竹田駅舎内改修工事	朝来市	○	/	
	駅前駐車場・駐輪場の設置	朝来市	○	/	
青倉駅	駅前駐車場・駐輪場の設置	朝来市	○	/	
新井駅	駅前駐車場・駐輪場の設置	朝来市	○	/	
生野駅	複合交通センター整備	朝来市	○	/	
	生野駅西口前広場及び駐車場整備	朝来市	○	/	
長谷駅	長谷駅利用促進業務委託	神河町	○	○	
	無料駐車場設置 (駅前に無料駐車場を10台分提供)	神河町	○	/	
各駅	情報配信装置Scommの設置	JR	○	/	
	列車運行情報アプリ、走行位置情報アプリの配信	JR	○	/	
	インターネット予約サービスe5489の開始	JR	○	/	

### 4.3 利用促進

利用促進は、前回プログラムに掲載した施策について、26 事業中 24 事業を実施し、さらに 32 事業を新たに実施している。

前回調査で多くの要望があった乗継ぎ情報案内の充実に向け、豊岡市、朝来市、養父市の3市で公共交通情報誌の配布を開始した。また、住民の鉄道利用増加を図るため、香美町では通園・通学助成、神河町では長谷駅の通学利用者への運賃助成、豊岡市・朝来市では職員の通勤利用の推進、新温泉町では職員の出張時特急利用の推進に取り組んでいる。

また、各市町において、住民の鉄道利用意識の醸成・利用促進を目的としたイベントの開催、町民号等の鉄道旅行の企画に取り組んでいる。

さらに、駅と観光地を結ぶ「たじまわる」や「天空バス」の運行、駅レンタサイクルの利用料補助等により、観光客を対象とした2次交通の充実を図った。

表 4.3.1 利用促進事業実施状況（前アクションプログラム掲載分）

施策の内容	実施主体	実施有無	事業継続	H28実績	備考
町民ふれあいの旅(町民号)	浜坂駅活性化推進協議会 ※現在の主体は新温泉町	○	○	参加者:26人	
通園・通学に対する助成	香美町	○	○	助成件数:40件	
町民号旅行	香美町	○	×	-	参加希望者少数により終了
余部鉄橋メモリアル事業	香美町	○	○	-	
立木観音参拝同級生旅行	香美町住民	○	×	-	住民の意向によりバス利用へ移行
商店街とのタイアップによる活性化	豊岡市	○	○	-	
市民号の実施	豊岡市	○	×	-	お座敷列車の廃車に伴い終了
パーク&レールきっぷ利用駐車場の拡大 (駐車場43台)	JR・豊岡市	○	○	-	
播但線全線開通100周年記念事業 記念式典	朝来市	○	/	-	
播但線全線開通100周年記念事業 鉄道おもちゃ展	同盟会(播但線)	○	/	-	
播但線全線開通100周年記念事業 銀箔ぼっぼまつり	生野もりあげ隊	○	/	-	
市民号の実施	朝来市	○	○	-	H28はバス利用
鉄道利用啓発カレンダーの配布	但馬地域鉄道 利用促進会議	○	×	-	鉄道利用促進リーフレットの配布へ転換
しゃべるポスターの掲示	但馬地域鉄道 利用促進会議	×	/	-	啓発ノベルティの配布へ転換
うたごえ列車	但馬地域鉄道 利用促進会議	×	/	-	主催団体の実施終了により終了
トクトクきっぷ(かにカニエクスプレス)	JR・旅館等	○	○	-	
トクトクきっぷ(駅プラン春、夏、秋)	JR・旅館等	○	○	-	
トクトクきっぷ(短区間回数特急券レック)	JR	○	×	-	ご利用が芳しくなかったため廃止
トクトクきっぷ(パーク&レールきっぷ)	JR	○	×	-	パーク&レールサービスへ統合
パーク&ライドサービス(みどりの駐車場)	JR	○	○	-	
トクトクきっぷ(城崎温泉きれいな色浴衣でぶらり)	JR・旅館等	○	×	-	駅プランへ統合
トクトクきっぷ(城崎・出石ぐるりんバス)	JR・全但バス等	○	○	-	「城崎温泉・天橋立ぐるりんバス」へ拡大
但馬かにカニ合戦キャンペーン	JR・地元団体等	○	/	-	
観光名所発掘	JR	○	-	-	
播但線全線開通100周年記念事業 団体列車の運行	JR	○	/	-	
播但線全線開通100周年記念事業 サイクルトレインの運行	JR	○	/	-	

表 4.3.2 利用促進事業実施状況（前アクションプログラム非掲載分）

施策の内容	実施主体	実施有無	事業継続	H28実績	備考
山陰線鉄道遺産群パンフレット作成	新温泉町	○	○	-	
但馬牛ステークと鉄道遺産巡りツアー	新温泉町	○	△	-	
浜坂駅開業100周年記念事業	新温泉町	○	△	-	
鉄道グッズ館「鉄子の部屋」パンフレット作成	新温泉町	○	○	-	
職員e-出張事業 (神戸等の出張でははまかぜを利用)	新温泉町	○	○	利用回数: 165回	
汽車通学定期券購入費補助事業	新温泉町	○	○		
公共交通利用促進展の開催	香美町	○	○	実施期間: 10日間	
公共交通情報誌 足ナビの発行	豊岡市	○	○	発行部数: 33,000部	
e通勤プロジェクト	豊岡市	○	○	登録者: 132人	
豊岡ノーマイカーデー	豊岡市	○	○	参加者: 1,584人	
公共交通まつり	豊岡市	○	○	参加者: 約800人	
『名探偵コナン 城崎温泉ミステリーツアー』の開催 (海外観光客の利用促進を目的としたイベント)	国土交通省近畿運輸局、 兵庫県、豊岡市、JR西日本	○	△	-	
玄武洞シャトルバス (城崎温泉駅～戸島湿地～玄武洞の路線バス運行)	城崎温泉旅館協同組合	○	×	-	
暮らしの公共交通情報 Yabuナビの発行	養父市	○	○	発行部数: 10,000部	
エコ通勤 (市職員が公共交通等を使用して通勤)	朝来市	○	○	登録者: 150人	
公共交通情報誌 あさごナビの発行	朝来市	○	○	発行部数: 15,000部	
天空バスの運行 (JR竹田駅と竹田城跡を結ぶ周遊バス運行)	全但バス、朝来市	○	○	利用者: 192,856人	
利用者への運賃助成 (快速列車導入に伴う交通費実損がある者へ補助)	神河町	○	○	利用者: 4人(高校生)	
地元地域団体による駅前を会場としたイベントの開催 (長谷駅活性化紅葉ハイキング)	神河町 地元団体	○	○	参加者: 187人	
長谷駅活性化紅葉ハイキングの開催	長谷駅前協議会	○	○	参加者: 187人	
夢但馬周遊バス「たじまわる」	但馬観光協議会	○	○	利用者: 9,053人	
但馬地域観光PR誌の発行 (『但馬漫歩手帳』、『たじま漫歩手帳』ふらす+)	但馬県民局	○	○	-	
公共交通を活用した広域観光活性化事業 (レンタサイクル事業)	兵庫県但馬・鳥取県東部の 地域の交通・観光連携 協議会	○	○	補助利用者: 423人	
豊岡車両基地探検隊 (車両基地の見学会の実施)	但馬地域鉄道利便性向上 対策協議会	○	○	参加者: 約135人	
鉄道絵画コンクールの実施	但馬地域鉄道利便性向上 対策協議会	○	×	-	
JRふれあいハイキング	日本海と瀬戸内海を結ぶ播但線複 線電化促進同盟会	○	○	参加者: 40人	
播但線沿線、駅周辺のPR冊子の発行 (『播但線・各駅停車・この駅降りれば』)	日本海と瀬戸内海を結ぶ播但線複 線電化促進期成同盟会 播但線沿線活性化協議会	○	×	-	
但馬の特産物等を題材とした駅プランの設定	JR	○	○		
豪華列車「瑞風」の山陰本線運行及び 城崎温泉立寄観光	JR	○	○		
特急列車内の外国語案内放送	JR	○	○		
山陰海岸ジオライナーの餘部駅停車による観光	JR	○	○		
「ぐるっと北近畿」運行	JR、丹鉄、但馬県民局、 中丹広域振興局、 丹後広域振興局、日本旅行	○	○		



## 5. 現状と課題の整理

「2. 地域の現状」「3. アンケート調査結果」の主な内容を以下にとりまとめた。また、これを踏まえて、JR山陰本線・播但線の現状と課題を整理した。

人口減少、少子高齢化が進行する中、基幹交通である鉄道の利便性向上や活性化を図るためには、前アクションプログラムにおける取組をさらに発展させるとともに、各自治体の地域創生の取組と連携し、交流人口を拡大する取組に注力していくことが求められる。

### < 地域の現状・アンケート調査結果のとりまとめ >

地域の現状	【現状】	1 鉄道利用者の減少が続いており、過去20年間（1995年～2015年）で約41%減少している。 計画区間の平均乗車人員：13,165人/日（1995年）→7,650人/日（2015年）
		2 鉄道の運行本数が減少傾向にある。 （豊岡駅～城崎温泉駅間では、1995年度：93便→2015年度62便）
		3 計画地域への観光客は、竹田城跡のテレビCM採用や、空の駅のオープン等により、2010年度以降概ね増加傾向で推移している。（2010年度：889万人→2015年度1,094万人）
		4 全県と比較して、全ての距離帯で自動車利用が多く、平日、休日ともに7割以上が自動車を利用している一方、鉄道利用は少ない。（平日30km以上の鉄道利用：計画地域約10%、兵庫県全体約60%）
		5 近畿2府2県（京都府、大阪府、兵庫県、奈良県）からの流動を除くと、鳥取県東部からの流動が多いが、鉄道利用はわずかである。（休日・観光目的の流動：全手段1,095人/日、鉄道9人/日）
地域の現状	【将来見込】	1 2015年から2025年の10年間で、地域全体の人口は約2万人減少し約16万人となり、高齢化率は約5ポイント上昇し約39%となる見込である。
		2 計画地域における65歳以上の外出率は約53%であり、生産年齢層と比べて33ポイント低く、人口減少だけでなく、高齢化の進行によって地域内の移動量が減少していく恐れがある。
アンケート	【観光】	1 県外（主に大阪府、京都府）からの来訪者は約3割が鉄道利用であり、県内からの来訪者（約1割）と比較して鉄道利用割合が高い。
		2 城崎温泉への来訪者の約4割が鉄道利用であり、他の観光施設（約1割）と比較して鉄道利用割合が高い。
		3 鉄道を利用しなかった主な理由は、「時間がかかる（35%）」、「乗継ぎが不便（21%）」、「運賃が高い（18%）」である。
		4 観光客が参考にしてしている主な媒体は、「各施設HP（24%）」、「観光協会HP（23%）」、「SNS（13%）」であり、インターネットメディアを中心に情報収集されている。
		5 鉄道利用による観光地周遊の促進に効果的だと思う取組は、「駅から主要観光地へのアクセス手段の充実（40%）」が最も多い。
		6 観光客の約7割が、「兵庫県北部地域の観光にあわせて、鳥取県へ観光に行きたい」と思っている。
アンケート	【住民】	1 約8割の住民が外出時の交通手段として自動車を利用している。
		2 鉄道を利用しない主な理由は、「駅からの手段が不便（45%）」、「運行本数が少ない（39%）」、「時間がかかる（26%）」、「乗継ぎが不便（26%）」である。
アンケート	【鉄道利用者】	1 駅への主な要望は、「売店（41%）」、「待合環境（28%）」、「バリアフリー（21%）」である。
		2 駅周辺施設への主な要望は、「コンビニ（56%）」、「駐車・駐輪場（32%）」、「送迎バス（25%）」である。
		3 鉄道全般への主な要望は、「運行本数（66%）」、「スピードアップ（33%）」、「交通ICカード（30%）」の順番である。

< 現状 >

1. 鉄道利用者の減少

鉄道利用者の減少が続いており、過去 20 年間（1995 年～2015 年）で約 41%減少している。

2. 輸送サービスの低下

鉄道利用者の減少に伴って、輸送サービスが低下している。また、観光客や住民の「鉄道を利用しない理由」は「運行本数が少ない」、「時間がかかる」、「乗継ぎが不便」といった意見が多い。

3. 整備が望まれる駅及び駅周辺施設

駅での売店、待合い施設、バリアフリー化、駅周辺でのコンビニ、駐車・駐輪施設、送迎スペースの整備を望む鉄道利用者からの意見が多い。

4. 駅からの交通手段が不便

観光客が利用促進に特に効果的だと考える取組は、「駅から主要観光地へのアクセス手段の充実」が最も多い。また、住民が鉄道を利用しない理由は、「駅からの交通手段が不便」が最も多い。

5. 他地域よりも低い鉄道の交通手段分担率

兵庫県全体と比較して、どの距離帯においても、自動車の交通手段分担率が非常に高く、鉄道の交通手段分担率が低い。

< 課題 >

1. 輸送サービスの向上

乗車人員減少に伴う輸送サービスの低下がさらなる利用減を引き起こす負のスパイラルに歯止めをかけるため、特急列車の増便・延伸、普通列車の高速化・増便等に取り組み、輸送サービスの向上が乗車人員増加につながる好循環を生み出していく必要がある。

2. 交流人口の拡大

各自治体の地域創生の取組と連携し、観光利用の促進等、交流人口を拡大させ、鉄道利用者の増加に結びつけていく必要がある。

3. 駅及び駅周辺環境の改善

駐車場、駐輪場、駅前道路等の整備による駅へのアクセス向上、トイレ等の整備による快適な利用環境の整備を進め、駅の機能向上を図る必要がある。また、駅及び駅周辺の活性化を通じて、利便施設の立地を誘導していくことも必要である。

4. 利用者意識の醸成

鉄道の交通手段分担率の増加に向けて、住民の公共交通利用意識を醸成するさらなる取組が必要である。また、公共交通利用者に対する公営施設の利用料金割引等、沿線施設との連携を進めていく必要がある。

## 6. 計画の理念と数値目標

### 6.1 計画の理念

今後、地域及び地元自治体が主体となり鉄道の利便性向上や活性化を図ることが必要であることから、計画の理念を以下のとおり定める。

**理念** みんなでつくろう 魅力ある山陰本線・播但線

この理念に則って、「輸送サービスの向上」、「交流人口の拡大」、「駅及び駅周辺環境の改善」、「利用者意識の醸成」に取り組み、魅力ある山陰本線・播但線をみんなでつくっていく。

### 6.2 計画の数値目標

取組の達成状況を把握するための数値目標を設定する。指標としては、計画区間の年間乗車人員を用い、長期的に年間 400 万人を目指すものとする。また、長期目標達成に向けて段階的に取り組んでいくため、本プログラムの短期的な目標は、年間乗車人員 300 万人とする。なお、短期目標については、概ね 5 年後の達成を目指すものとする。

**数値目標** 年間乗車人員 300万人

#### 【短期目標】

梁瀬駅～城崎温泉駅の列車本数は、2010 年（平成 22 年）春のダイヤ改正で 2～4 便の減便が行われている。この減便が実施される前の 2009 年度（平成 21 年度）の乗車人員（約 300 万人）を当面の目標値とする。なお、年間乗車人員 300 万人は、以下により実現可能となる。

#### <年間乗車人員 300 万人に向けた取組方針>

- ① 平成 27 年度の鉄道利用の維持（279 万人）
- ② 観光目的の鉄道利用の増加（21 万人 [年間約 4.2 万人増加]）  
※2018 年度:283 万人⇒2019 年度:287 万人⇒2020 年度:292 万人⇒2021 年度:296 万人⇒2022 年度:300 万人  
⇒新たに、計画地域への宿泊観光客 211 万人の 5%相当が鉄道利用で来訪することで  
実現可能（211 万人×5%×2 [往復利用] =21.1 万人）

#### 【長期目標】

城崎温泉駅～浜坂駅間の列車本数は、2002 年（平成 14 年）春のダイヤ改正で大幅に減便され、現在に至っている。普通列車が減便される前の 2001 年度（平成 13 年度）の乗車人員（約 400 万人）を長期的な目標値とする。

## 7. 利便性向上のための取組施策

### 7.1 輸送サービスの向上

乗車人員減少に伴う輸送サービスの低下がさらなる利用減を引き起こす負のスパイラルに歯止めをかけるため、特急列車の増便・延伸、普通列車の高速化・増便を実現し、輸送サービスの向上が乗車人員増加につながる好循環を生み出していく。

輸送サービスの向上については、自治体と事業者が連携した施策を展開していくべきであり、今後、実現に向けた協議を深度化していくものとする。各施策については、その効果を確認するための社会実験の実施等、本格実施に向けたステップを検討し、協議が調ったものから速やかに実施していく。

なお、「活力あるふるさと兵庫実現プログラム（平成 29 年 12 月）」と整合するよう、特急列車の増便・延伸、普通列車の高速化・増便の着手年度（目標）は、2019 年度（平成 31 年度）とする。

### 「輸送サービスの向上」プログラム

#### ○ 今後協議を進める内容

施策	実施区間	着手年度	具体的な施策例
特急列車の増便・延伸	全区間	H31 (目標)	・はまかぜの全便鳥取駅発着、増便 ・まつかぜ、おき等の豊岡駅への延伸
普通列車の高速化	城崎温泉駅～居組駅 寺前駅～和田山駅	H31 (目標)	・新型車両の導入
普通列車の増便	城崎温泉駅～居組駅 寺前駅～和田山駅	H31 (目標)	・高速化に合わせた増便社会実験

## 7.2 交流人口の拡大

各自治体の地域創生の取組と連携し、交流人口を拡大する取組を展開する。

城崎温泉、竹田城跡、余部鉄橋「空の駅」など、既存の観光地の情報発信を強化するとともに、日本遺産の神子畑選鉱場跡といった魅力ある観光地の開拓にも力を入れることで、来訪者を増加させる取組を進める。また、効率的に観光できるようなモデルルート作成や2次交通の確保など、鉄道での来訪者が周遊しやすい環境づくりを観光協会や観光施設等とも連携して進めていく。

加えて、米子・鳥取-城崎温泉間の特別列車を運行することにより、鳥取・岡山方面からの新たな旅客需要の創造を図る。

### 「交流人口の拡大」プログラム

#### ○ 継続実施する内容

実施主体	施策	実施駅	着手年度	備考
香美町	観光促進のための余部駅～鎧・香住駅間の路線バス運行	余部駅、鎧駅、香住駅	H26	
新温泉町	駅前足湯の管理	浜坂駅	H20	
	まち歩き案内所の運営	浜坂駅	H24	
豊岡市、養父市、朝来市	乗車券販売委託	竹野駅、養父駅 生野駅、竹田駅 梁瀬駅、新井駅	S59	S59 から 順次開始
朝来市、全但バス	天空バスの運行	竹田駅	H25	
竹野観光協会 和田山町観光協会 生野町観光協会	観光情報コーナーの運営	竹野駅 竹田駅 生野駅	H18	H18 から 順次開始
但馬観光協議会	たじまわるの運行（鉄道利用の観光モデルルート作成）	各駅	H25	
	夢但馬キャンペーンの実施	—	H27	
兵庫県但馬・鳥取県東部地域の 交通・観光連携協議会等	レンタサイクル補助事業	各駅	H25	
但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	但馬散歩手帖プラスの発行	—	H23	
長谷駅前協議会・栗区	長谷駅～生野駅間の播但線を利用したウォーキングの開催	長谷駅	H26	
日本海と瀬戸内海を結ぶ 播但線複線電化促進協議会	J R ふれあいハイキング	生野駅ほか	H28	
兵庫県	多言語による沿線情報発信（DiscoverTajima の発行）	—	H27	

○ 新たに実施する内容

実施主体	施策	実施駅	着手年度	備考
香美町	余部鉄橋「空の駅」を軸とした観光拠点再整備 (ジ・ホテル等との連携、遊歩道PR)	余部駅	H30	
	城崎温泉から余部鉄橋への旅行プラン作成	余部駅	H30	
新温泉町	鉄道グッズ館「鉄子の部屋」の充実とPR強化	浜坂駅	H30	
但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	イベント列車運行	—	H30	
	駅舎や車内でのイベント実施	—	H30	
日本遺産「銀の馬車道・ 鉱石の道」推進協議会	イベント列車運行	—	H30	
兵庫県 豊岡市、香美町、新温泉町	米子駅・鳥取駅～城崎温泉駅間の特別列車運行	—	H30	県政150周年 記念特別事業
兵庫県	イベント時のシャトルバス運行助成	—	H30	

○ 検討する内容

実施主体	施策	実施駅	着手年度	備考
養父市	駅前広場の既設看板改修	八鹿駅	H30-31	
	観光案内コーナー設置	八鹿駅	検討中	
朝来市	神子畑選鉱場跡を活用した観光促進	—	検討中	
	和田山駅発着の天空バス運行	和田山駅	検討中	
香美町	観光案内所による旅行プランニング対応	香住駅	検討中	
豊岡市、養父市、神河町	鉄道利用者対象のスキーリフト券割引	江原駅、八鹿駅、寺前駅	検討中	
兵庫県	子どもの鉄道乗車体験を通じた将来の利用促進	—	検討中	

### 7.3 駅及び駅周辺環境の改善

駐車場や駐輪場の整備、駅周辺道路の整備など、駅へのアクセスを向上させるほか、駅トイレの整備等により、駅の快適性の向上に取り組むことで、駅の機能向上に努めていく。特に、浜坂駅や香住駅といった地域の核となる駅では、面的な駅前整備に取り組むなど、各駅の特性に応じて駅周辺の活性化を図る。

駅及び駅周辺の活性化を図ることで、コンビニ等の利便施設の立地等、駅を中心としたまちづくりが進展していくよう誘導していく。

#### 「駅及び駅周辺環境の改善」プログラム

##### ○ 継続実施する内容

駅名	施策	実施主体	着手年度	備考
浜坂駅	浜坂駅港湾線街路事業	兵庫県	H19	

##### ○ 新たに実施する内容

駅名	施策	実施主体	着手年度	備考
浜坂駅	浜坂駅周辺整備	新温泉町	H30	今後計画策定
香住駅	駅前広場整備	香美町	H30	計画策定中
長谷駅	長谷駅のトイレ改修	神河町	H30	

##### ○ 検討する内容

駅名	施策	実施主体	着手年度	備考
八鹿駅	駅前待合駐車場整備	養父市	検討中	
	八鹿駅前道路整備	養父市	検討中	歩車分離
和田山駅	和田山駅自由通路整備	朝来市	検討中	
香住駅	JR利用者専用駐車場整備	香美町	検討中	無料又は低額
	駅待合室・トイレの改修	香美町	検討中	
和田山駅、長谷駅、寺前駅	駐車場・駐輪場整備	朝来市、神河町	検討中	

## 7.4 利用者意識の醸成

公共交通情報の発信や住民に鉄道を身近に感じてもらうイベント等によって、公共交通を利用する意識を醸成する取組を展開する。このため、従前のプログラムに基づく事業の継続実施に加えて、公共交通活性化のためのふるさと納税導入、各駅での利用啓発イベント、公共施設での鉄道情報チラシの配架など、新たな取組を積極的に展開していく。

また、特急定期パスカル利用者への運賃助成や免許返納者に対する回数券配布など、地域創生における定住促進施策や、高齢化に対応した福祉施策と連携した取組のほか、旅行、出張など遠距離移動時の鉄道利用を促進する取組について、検討を進めていく。

### 「利用者意識の醸成」プログラム

#### ○ 継続実施する内容

実施主体	施策	実施駅	着手年度	備考
豊岡市	商店街とのタイアップによる活性化	—	H17	
	地域イベント時のアクセスバス運行	—	H17	
	e 通勤プロジェクト	—	H21	
	「公共交通情報誌 足ナビ」発行	—	H22	
	豊岡ノーマイカード	—	H24	
	公共交通まつり	豊岡駅	H26	
豊岡市・城崎観光協会	デジタルサインによる情報発信	城崎温泉駅	H28	
養父市	鉄道利用者対象の無料駐輪場設置	八鹿駅	S63	
	鉄道利用者への駅前駐車場、駐輪場の料金割引	養父駅	H8	
	高校生バス・JR 通学定期券補助	—	H22	
	「暮らしの公共交通情報 Yabu ナビ」発行	—	H28	
朝来市	市民号や区長研修等におけるJR活用	—	H18	
	「公共交通情報誌 あさごナビ」発行	—	H24	
	エコ通勤	—	H26	
香美町	通園・通学に対する助成	—	H17	
	公共交通利用促進展の開催	—	H27	
新温泉町	町民ふれあいの旅	—	H17	
	汽車通学定期券購入費補助	—	H17	
	職員 e - 出張事業	—	H20	
神河町	通勤・通学者交通費補助	—	H28	
	地域住民による長谷駅利用促進活動への補助	長谷駅	H29	
但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	豊岡車両基地探検隊	豊岡駅	H22	
但馬青少年本部	列車通学実態調査の実施	各駅	H13	
北兵庫鉄道複線電化促進期同盟会	鉄道情報を発信する web サイトの運営	—	H18	



○ 新たに実施する内容

実施主体	施策	実施駅	着手年度	備考
養父市	待合室への跨線橋の歴史的価値PRパネル設置	八鹿駅	H30	
養父市・但馬農業高校	高校生による駅前ロータリー花壇の植栽整備	八鹿駅	H30	
香美町	公共交通活性化のためのふるさと納税導入	—	H30	余部鋼材グッズの返礼品導入
香美町・鎧自治会	鎧駅活性化イベントの開催	鎧駅	H30	
神河町	長谷駅利用促進計画に基づく事業実施	長谷駅	H30	
全市町	公共施設での鉄道情報チラシの配架	—	H30	
但馬青少年本部	機関誌等による利用促進啓発	—	H30	
但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	アクションプログラム啓発パンフレットの配布	—	H30	
兵庫県	職員に対する鉄道利用促進の意識啓発	—	H30	

○ 検討する内容

実施主体	施策	実施駅	着手年度	備考
養父市	待合室等での活性化事業実施	八鹿駅	検討中	読書スペース設置イベント開催
香美町	JR利用者助成	—	検討中	
全市町	鉄道利用者対象の公営施設利用料金の割引	—	検討中	
	特急定期パスカル利用者への運賃助成	—	検討中	
	免許返納者に対する回数券配布、補助等	—	検討中	
但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	ボランティア駅長の募集	無人駅	検討中	

## 8. 取組の評価及び推進体制

鉄道を取り巻く環境は、社会情勢や地域環境に応じて常に変化する。

このため、「Plan（計画）」、「Do（実施）」「Check（評価）」「Act（改善）」の「PDCAサイクル」を導入することで、本プログラム及び各施策の継続的な見直しを行うことが必要である。

このため、数値目標及び各施策の実績・効果を毎年度継続的に把握・確認し、必要に応じて、事業の見直し・改善等を行っていく。

また、鉄道を支える「住民」、「鉄道事業者」、「行政」の緊密な連携を図りながら、本プログラムを着実に推進していくものとする。

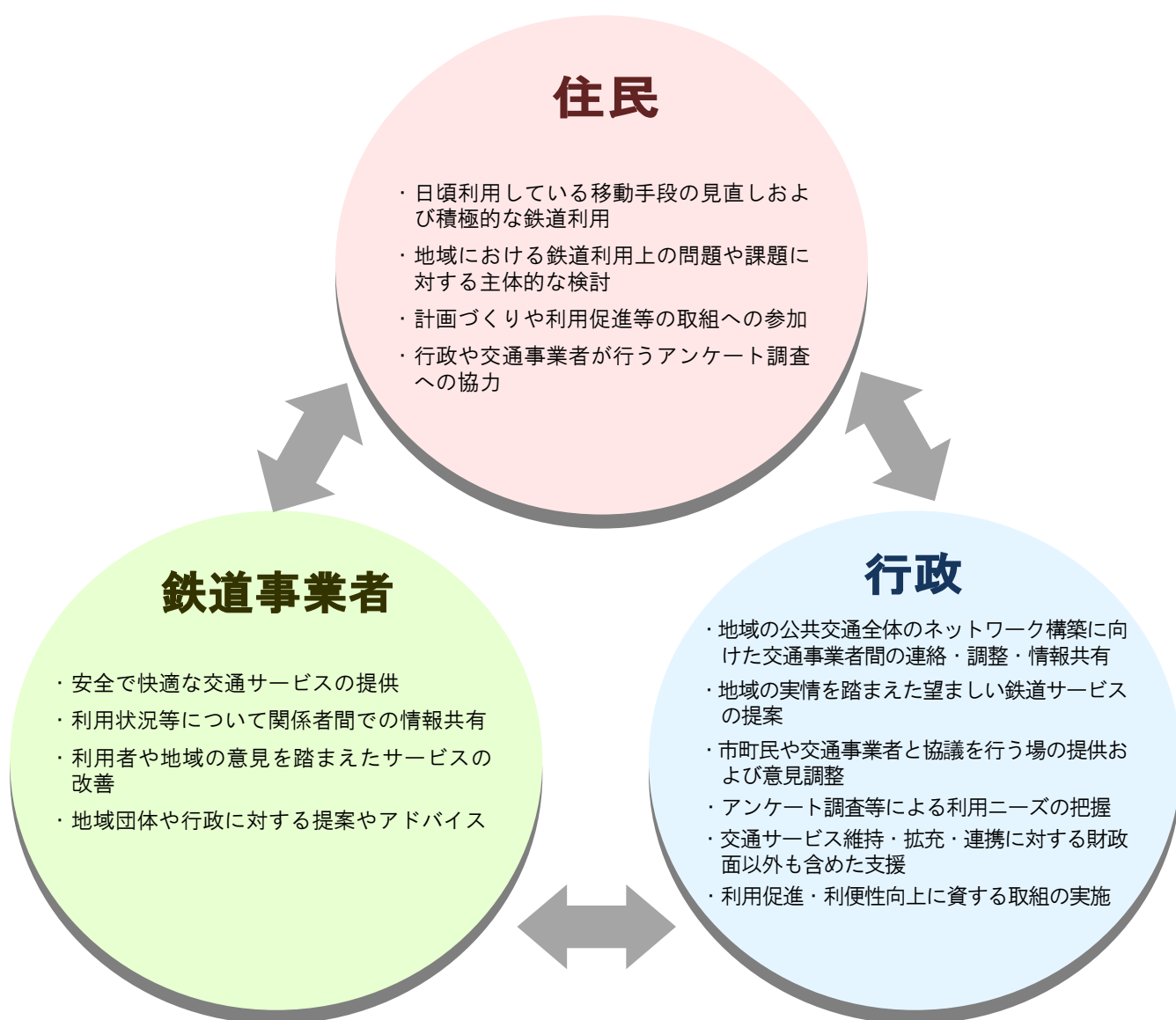


図 8.1 鉄道を支える3者の連携

■ 用語集

用語	説明
外出率	居住人口に対する外出した人数の割合
代表交通手段	1つのトリップの中で利用した主な交通手段
地域関連トリップ	その地域が出発地または到着地となっているトリップ
トリップ	ある目的をもって、ある地点からある地点まで移動すること
パーソントリップ調査	「どのような人が」「いつ」「どこから」「どこへ」「どのような目的で」「どのような交通手段を利用して」動いたのかについて調べ、人の一日の全ての動きをとらえる調査
全国幹線旅客純流動調査	通勤・通学以外の目的で、幹線交通機関を利用し、都道府県を越える国内旅客流動をとらえる調査 近畿圏（京都府、大阪府、兵庫県、奈良県）内の流動は、都道府県内の流動と同様とみなされ調査対象外
幹線交通機関	航空、鉄道（新幹線、特急等）、幹線旅客船、幹線バス、乗用車等、都道府県を越えて利用される交通機関